

**大樹町テレワーク  
拠点整備・活用方針検討業務**

**報告書**

平成 31 年 3 月

大樹町

受託：株式会社ドーコン



## 目次

第1章 業務概要	1
1-1 業務の目的	1
1-2 業務内容	1
第2章 フリーランサーおよび一般企業受入プランの事業化検討	3
2-1 目的と概要	3
2-1-1 目的	3
2-1-2 実施概要	4
2-2 モニター参加企業の選定・調整	7
2-2-1 実証実験参加者	7
2-2-2 案件提供者と内容	7
2-3 モニター実証	10
2-3-1 実施内容	10
2-3-2 プロモーション企画の結果	11
第3章 宇宙関連企業受入プランの事業化検討	21
3-1 調査概要	21
3-2 調査準備	21
3-2-1 視察メニューの検討	21
3-2-2 モニター企業の選定	22
3-3 調査結果	25
3-3-1 実施内容	25
3-3-2 視察結果	26
3-3-3 モニターアンケート調査	32
3-3-4 意見交換	58
3-3-5 視察ニーズ調査のまとめ	59
第4章 プロモーションに関する検討	60
4-1 プロモーション企画概要	60
4-2 プロモーション実施結果	61
4-2-1 大手企業人事担当者向けイベント	61
4-2-2 エコツェリア共催イベント	63
4-2-1 今後のプロモーションに向けて	66
第5章 Customer Relationship Management (CRM)実施に関する検討	67
5-1 訪問者のロイヤルティ構築のイメージ	67
5-2 Customer Relationship Management (CRM)導入による関係構築	68
5-3 大樹町におけるCRMの運用	69
5-3-1 大樹町におけるCRMシステム	69
5-3-2 CRMシステムの要件	71
第6章 テレワーク拠点施設の整備に関する検討	72
6-1 テレワーク拠点施設に関するニーズの整理	72
6-1-1 サテライトオフィス等の施設の設置場所	72

6-1-2	サテライトオフィス等の施設に必要な機能 .....	73
6-1-3	サテライトオフィス等に付随するサービス .....	74
6-2	テレワーク拠点施設の整備方針 .....	75
6-2-1	テレワーク拠点施設の方向性 .....	75
6-2-2	導入機能の検討 .....	76
6-2-3	施設整備の留意点 .....	76
6-2-4	施設整備エリアの検討 .....	77
6-2-5	施設整備のパターン .....	83
6-2-6	必要諸室の設定 .....	84
6-3	テレワーク拠点施設の整備計画 .....	86
6-3-1	旧歴舟小学校活用モデル .....	86
6-3-1	道の駅活用モデル .....	88
6-3-1	SORA 併設モデル .....	90
<b>第7章 大樹町テレワーク拠点整備・活用方針 .....</b>		<b>92</b>
7-1	テレワーク拠点整備・活用方針 .....	92
7-2	テレワーク拠点整備・活用イメージ .....	94
7-2-1	既存施設活用プラン .....	94
7-2-2	リノベーションプラン .....	94
7-2-3	新設プラン .....	94
<b>第8章 大樹町テレワーク活用プランの展開に向けて .....</b>		<b>95</b>

---

## 第1章 業務概要

---

### 1-1 業務の目的

大樹町では、急速な少子高齢化や人口減少への対応が課題となる中、移住・交流の促進に向けて、移住者の働く場の創出と暮らしの場の整備を両面から行なうことが必要となっている。

都市部から地方へ仕事・人を移動させ交流を活発化させることを目指す「ふるさとテレワーク」は、地域活性化方策の一つとして注目されている。テレワークにより都市部での仕事を継続して行なえるような環境を整備することで、「働く場」を確保するとともに、「暮らしの場」を整備して受け入れ態勢を整えることで、豊かな自然環境など地域資源を活用した移住・交流の促進につなげることが期待される。

さらに、大樹町は、多くの宇宙関連企業が集積する「アジアNo.1のスペースタウン」を目指して、「宇宙のまちづくり」を進めており、航空宇宙関連の実験フィールドなどとして利用されている多目的航空公園をはじめ、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の実験施設が整備され、多くの宇宙関連企業等が訪れていることから、これらの企業や人材を活かした地域活性化方策の一つとして、テレワークの活用が見込まれる。

本業務は、平成29年度に検討した大樹町におけるテレワーク活用プランをもとに、今後の企業・人の受け入れに向けて、大樹町テレワーク拠点整備・活用方針を検討することを目的とする。

### 1-2 業務内容

#### (1) テレワーカー受け入れプランの事業化検討

平成29年度調査において、モニター実証等の結果を踏まえて示された、大樹町における企業の受け入れプラン案について、大樹町のプロモーション強化および事業化に向けた方法をより具体的に検討する。

地域の関係者等を含めて、プラン内容について具体的に検討し、モニターによるテレワーク導入の実証調査を行う。

モニター実証調査にあたっては、モニター参加企業を選定し、実施期間・時期・条件等の把握・調整、受け入れ環境の整備および検証を行う。

大樹町における企業の受け入れプラン案は、以下の2つのプランとする。

- ①フリーランサーおよび一般企業受入プラン
- ②宇宙関連企業受入プラン

#### (2) プロモーションおよび CRM 実施に関する検討

今後のテレワーク実施企業や視察・実験等で来訪する宇宙関連企業の誘致に向けて、大樹町の強みを押し出したプロモーション活動や、CRM（Customer Relationship Management：顧客関係管理）の実施について検討する。

取組方法を検討し、そのうち重要度の高いものについて実施したうえで、今後の取組課題および方針について整理する。

### **(3) テレワーク拠点施設の整備に関する検討**

モニター企業等のニーズを踏まえて、町内の既存施設等を活用したテレワーク拠点施設の整備イメージについて検討する。

### **(4) 大樹町テレワーク拠点整備・活用方針の整理**

(1) ～ (3) の調査結果を受けて、今後の大樹町テレワーク拠点整備・活用方針について整理する。

---

## 第2章 フリーランサーおよび一般企業受入プランの事業化検討

---

### 2-1 目的と概要

#### 2-1-1 目的

大樹町のプロモーション強化および事業化に向けて、大樹町の認知度ならびに大樹町ロイヤルティの向上を目的として、都市部（主に首都圏）のフリーランサーや企業の従業員を大樹町に呼び込み、テレワークを活用した実証実験を行った。

テレワーク導入による大樹町ならびに企業のベネフィットを想定した図を次に示す。

ここでは、大樹町のみならず、導入企業の持続的成長に貢献できることを想定したモデルの構築を目指すこととした。



図 2-1 大樹町で実現したいテレワーク像

## 2-1-2 実施概要

大樹町において、交流人口・定住人口の増加を目指すうえで、より地域への波及効果が得られるようなスキームを検討した。

誘致する企業やフリーランサーとして、クリエイティブな人材を選定し、地元企業や商店との接点を積極的に持たせることで、地域への波及効果や対外的なPR効果を相乗的に発揮させることができると考えた。

まず、企業がテレワークを導入するにあたっての必要なポイントとして、次の通り仮説を設定した。

- テレワーク活用による、企業人材のワークライフバランスの実現
- ストレスなく仕事ができる環境の実現
- 企業がPRに活用できる
- 人材確保につなげることができる

次に、事業の枠組みとして、講師となる人材（サイファーポイント社）をクリエイターと地元企業をつなぐ接点として事業の中心に据えた。

また、地元企業・商店等の選定については、町による紹介や既存のニクラウドソーシング®などの仕組みを活用することを想定した。

実証実験の概要および進め方の概要を次に示す。

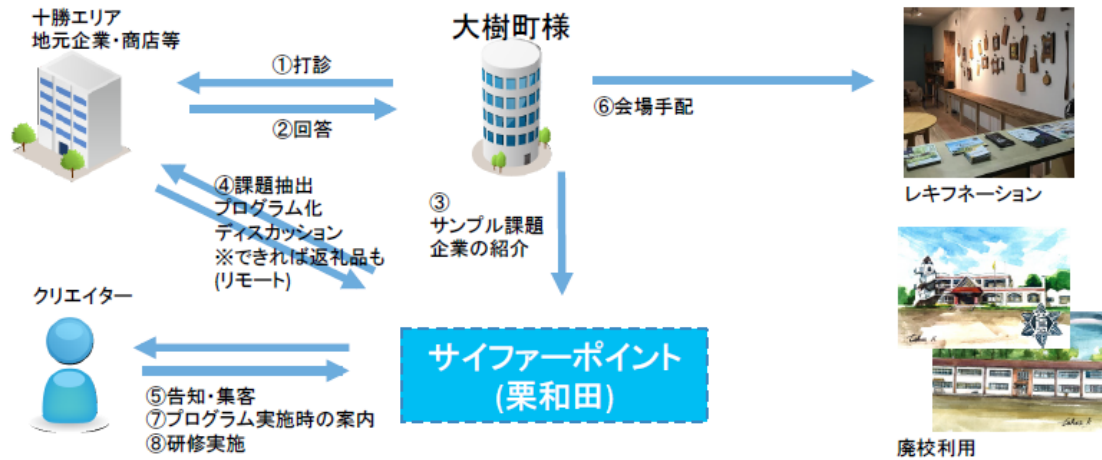
※ニクラウドソーシング®とは、物々交換系クラウドソーシングで、地域のお手伝いをする代わりに肉などの「特産品」がもらえる、北海道十勝19市町村とウォンテッドリー株式会社が共同で行うサービス。



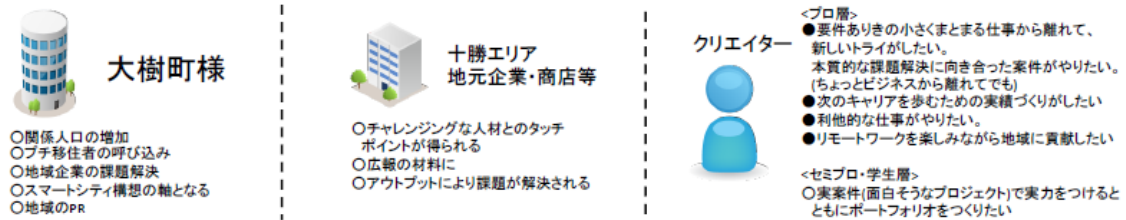
図 2-2 実証実験の概要



## 大樹町での実施概要と手順



## ステークホルダーのメリット



## 対象 target

スキルアップしたい  
クリエイティブ職

新人  
WEB担当

地元の  
テレワークスキ  
ル習得希望者

地元の経営者

## 何を伝えるか what

WEBマーケティング

## どのようにして伝えるか how

座学研修の受講

グループワークの実施(ディレクター、講師がサポート)

地域課題・地元企業課題をサンプルにOJT(プロトタイプの作成・企画立案など)を行う

発表会・公評

図 2-3 実証実験の進め方

# 講師兼ファシリテーター 栗和田大輔（くりわだだいすけ）



コンセプトデザイナー  
マーケティング講師  
株式会社 サイファーポイント代表

- 宮城県仙台市出身
- 2007年に川崎市(登戸)で学生起業
- 今年で10年目
- 社員は国内4名、ミャンマー2名

- ぐるなび様 ポータルサイト設計
- 熱海市様移住プロジェクト
- 船井総研様のクライアント向け  
デザイン・サービス
- パナソニック様スマートフォン  
アプリ企画・デザイン



 KAI corporation

©KAI corporation Ltd.

図 2-4 ブートキャンプ講師

## 2-2 モニター参加企業の選定・調整

### 2-2-1 実証実験参加者

モニター参加者については株式会社サイファーポイントの有するネットワークを利用し、募集を行った。

実証実験のモニター参加者は次の通りである。

表 2-1 モニター参加者

参加者名	職業など
三橋 由紀 ( みつはし ゆき )	・WEB制作会社から独立し、今はフリーランサーとしてデザインとイラストを生業に活動中。
堤 由惟 ( つつみ ゆい )	・大手出版社の編集者として東京都内勤務。 ・レーベル開発部のノベル編集、キャラ文芸、ライト文芸を中心に70冊ほど担当。

### 2-2-2 案件提供者と内容

案件提供企業は、K A I が主に十勝エリアを中心にニクラウドソーシング®のスキームを活用して抽出した。

最終的に対象とした2つの案件について、内容を以下に示す。

表 2-2 実証実験において対象とする案件

案件名	概要
粋肌着の プロモーション企画	・今後さらなる販売促進を展開するにあたってのプロモーションアイデアの創出等を提案する。
大樹町テレワーク プロモーション	・大樹町におけるテレワークを導入・推進するための具体的な方策を提案する。

## ブーツキャンプテーマ① 粋肌着のプロモーション企画



「日本一寒い町 陸別町」が認めた  
**「粋肌着」**  
 新たなプロモーションアイデアの企画

 KAI corporation

©KAI corporation Ltd.

## ブーツキャンプ案件提供者： 秋庭 智也（あきば ともや）



陸別町地域ブランド開発推進専門員  
 日本一寒い町北海道陸別町で**無暖房生活**  
 FM-JAGA Outdoor Neighborhood DJ

- 東京都出身
- 趣味は登山（冬山が好き→無暖房生活へ）
- 30か国以上の国々を旅



創業期の（株）サイバーエージェントでのウェブプロデューサーなどを経て、国際協力NGOで10年間バングラデシュ・ネパールの子どもや女性の支援、フェアトレード事業に携わる。

2012年、陸別町に移住し、地域資源を活かした特産品開発や肌着メーカーとコラボしたプロモーション企画などを実施。

十勝のアウトドア情報発信するFMラジオ番組でDJも務める。

 KAI corporation

©KAI corporation Ltd. 

図 2-5 案件①粋肌着のプロモーション企画

## ブートキャンプテーマ② 大樹町テレワークプロモーション

[シーン1]

子供の夏休み体験テレワーク

[シーン2]

リフレッシュテレワーク

[シーン3]

集中検討型合宿型テレワーク

図 2-6 案件②大樹町テレワークプロモーション企画

## 2-3 モニター実証

### 2-3-1 実施内容

2018年10月15日～17日の2泊3日の日程とし、次のスケジュールで開催した。

表 2-3 実証実験のスケジュール

	10/15(月) 1日目	10/16(火) 2日目 デザイン	10/16(火) 2日目 マーケ	10/17(水) 3日目
9:00	9:40 メムドウズへ移動	9:40 メムドウズへ移動	9:40 メムドウズへ移動	9:40 メムドウズへ移動
10:00	集合: 全体説明	デザインラフ	発散	プレゼン準備
11:00			収束	
12:00	昼食	昼食(BBQを想定)	昼食(BBQを想定)	昼食
13:00	自己紹介・簡易説明	デザイン制作	マーケアウトライン	プレゼンテーション
14:00	発散1ワーク 発散2ワーク		デザイン制作	
15:00	休憩、発散3ワーク			
16:00	収束1ワーク 休憩			
17:00	収束2 収束3			終了、解散 17:30- 出発
18:00	取りまとめ・予備時間	取りまとめ・予備時間	取りまとめ・予備時間	
19:00	自由行動 (街に出たの食事を想定)	懇親会	懇親会	自由行動
20:00				



案件提供者秋庭さんからの提示



粋肌着ディスカッション



テレワーク・ディスカッション



ワークショップの様子



ワークショップの様子



提案内容発表会

図 2-7 実証実験の様子

## 2-3-2 プロモーション企画の結果

### (1) 案件①粋肌着のプロモーション企画

案件提供者の秋庭氏がコラボレーションによりプロモーションを行っている「粋肌着（株式会社アズ製）」の販売をさらに促進することを目的として、プロモーション企画の立案を行った。

#### ① 課題の内容

課題の内容は、「日本一寒い町 陸別町が認めた“粋肌着”の新たなプロモーションアイデアの企画」を行うことである。

##### 〈課題のポイント〉

- ・今後さらなる販売促進を展開するにあたってのプロモーションアイデアの創出を行う。
- ・「粋肌着」を北海道だけでなく、東北地方などにも広めたい。
- ・過去4年に渡り「粋肌着」を日本一寒い町陸別町の住民に配布してプロモーションを行ったので、集まったユーザーの声を活かしたい。

## ② 参加者からの提案の内容

モニター参加者からの提案内容は、次に示す通りである。

### 街ゆく人の粋肌着試着 生配信



うわ～、あったかい！  
すごく軽いですね～



うわ～、あったかい！  
すごく軽いですね～



陸別町ほか、各地でインタビュー

参考URL  
<https://www.youtube.com/watch?v=laBQXRWolYM>

### 日本の風景と粋な私コンテスト



日本の風景とともに粋肌着を着た人を写した写真のコンテスト。  
WebサイトやSNSで公開してグランプリを決定。  
グランプリには粋肌着1年分をプレゼント！

参考URL  
<https://www.instagram.com/7amenfanjapan/>

図 2-8 参加者からの提案内容



### ③ 提案に関する議論

モニター参加者からの提案に対して、秋庭氏より、今後検討を継続することを前提として、提案内容を具体的に議論し、最終日に提案を行った。

今後は、WEBサイトの構築・企画の実行などを中心に論議される。

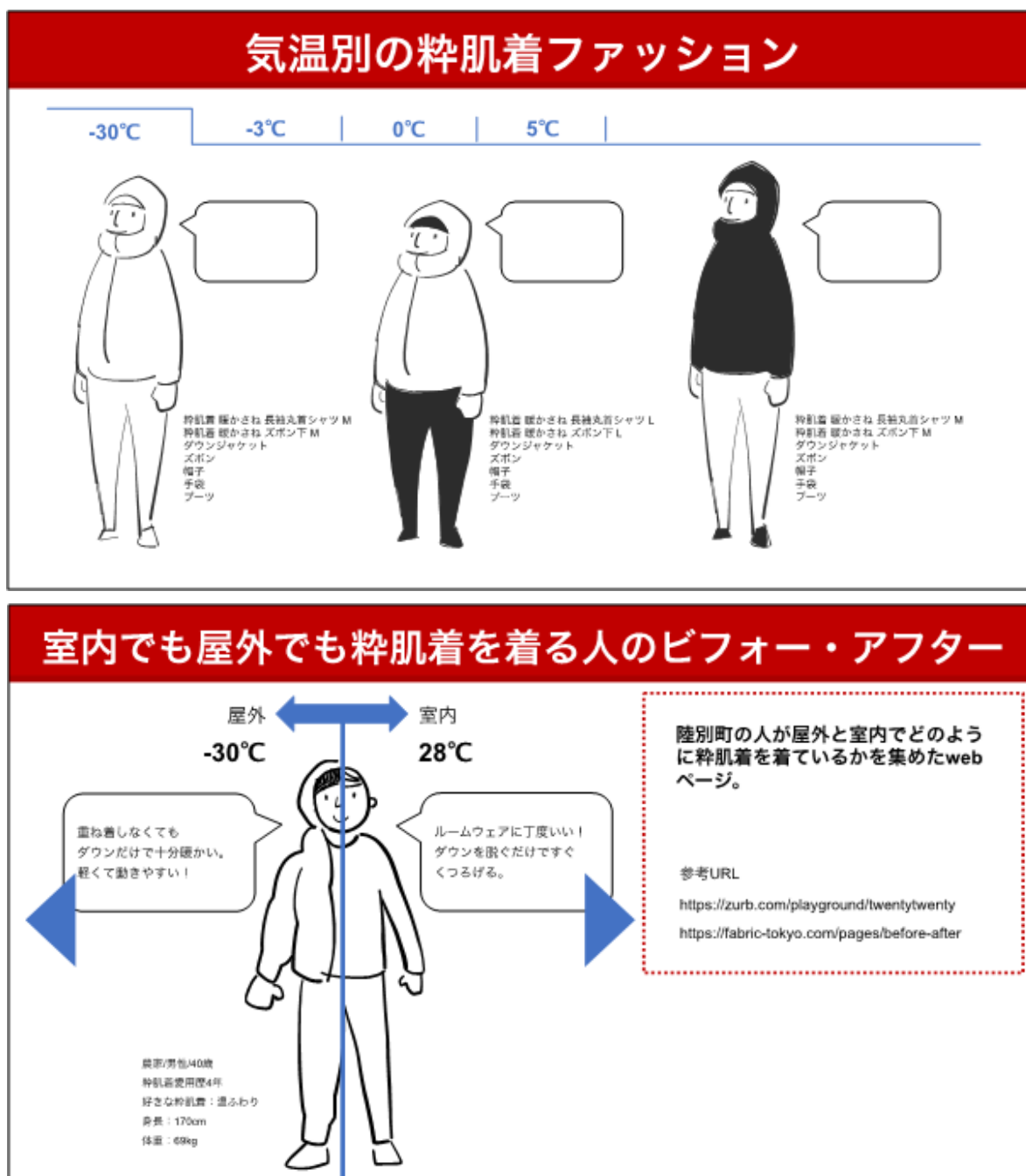
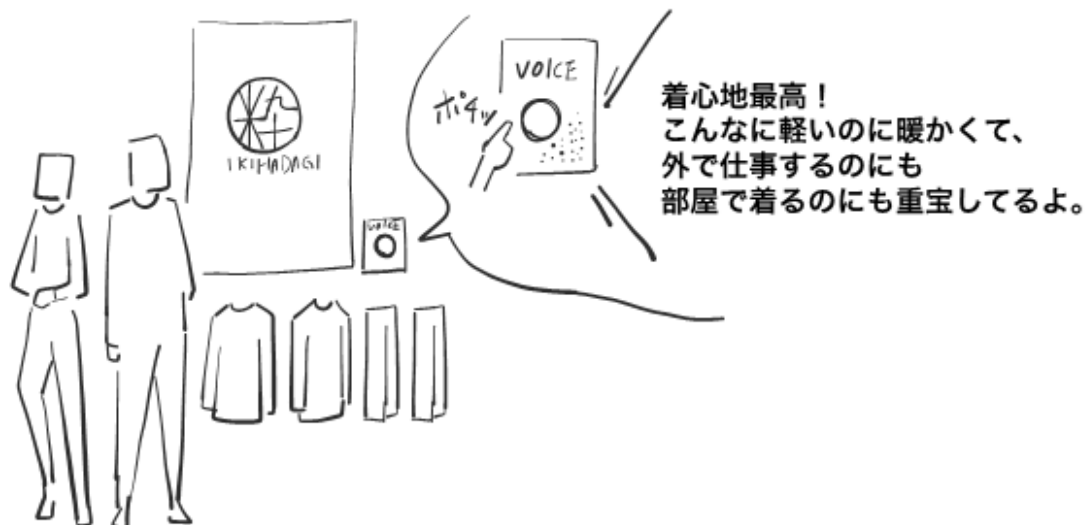


図 2-9 議論を踏まえた提案内容 (1/3)

## ポチッとユーザーボイス



## 極寒に住む人の心を溶かす肌着ディスプレイ

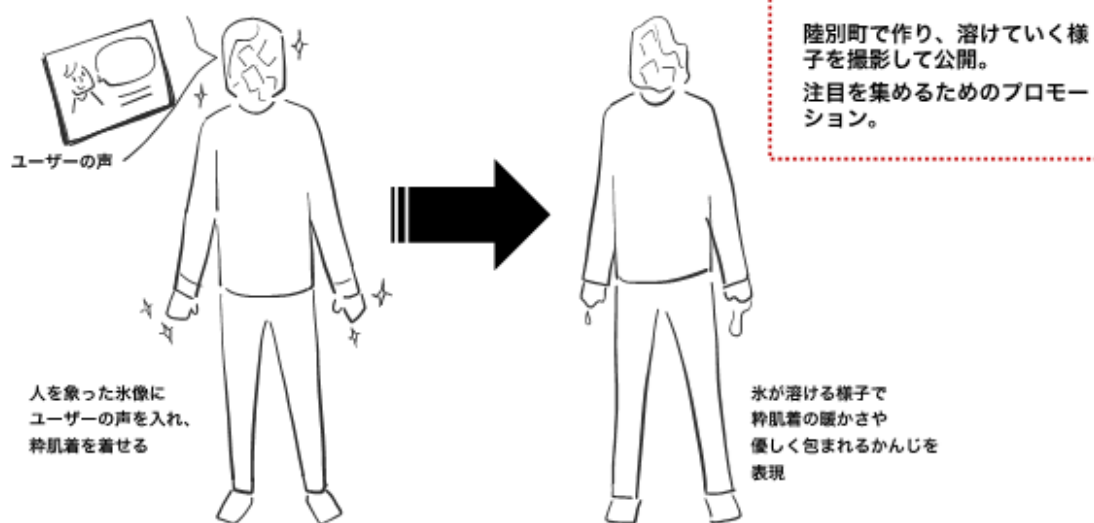


図 2-10 議論を踏まえた提案内容 (2/3)

## 「寒冷地あるある」で答える粹肌着への質問100



粹肌着って  
どれくらいあったかいの？

粹肌着への質問に対して寒冷地に  
ありがちなことに絡めたコメントで  
答えたLP。

鼻毛凍ってるけど、  
粹肌着とダウンの2枚だけで  
犬の散歩してる。



農家/男性/40歳  
粹肌着愛用歴4年  
好きな粹肌着：温ふわり

## 「#寒冷地あるある」で拡散する粹肌着への情熱



陸別町に住んでいる。  
こたつから出たくない。

鼻毛凍ってるけど、粹肌着と  
ダウンの2枚だけで犬の散歩  
してる。

<http://粹肌着LPのURL>

#寒冷地あるある

SNSで「#寒冷地あるある」を  
つけて粹肌着を拡散し、LPへ  
誘導。

参考URL

<https://twitter.com/TANITAofficial>

目玉焼きが綺麗に焼けた。

ズボンが一瞬で凍ったw

#寒冷地あるある

図 2-11 議論を踏まえた提案内容 (3/3)

## (2) 案件②大樹町テレワークプロモーション

平成 29 年度に行った「大樹町テレワーク実証実験」で抽出されたテレワークコンセプトについて、今後の展開を見据えたプロモーションの方向性の検討を行った。

### ① 課題の内容

課題の内容は、「大樹町におけるテレワークを導入・推進するための具体的な議論」を実施することである。

#### 〈課題のポイント〉

- ・ 利用者のニーズについて仮説を構築する。
- ・ ターゲットセッティングを行う。
- ・ サービスコンセプトを設定する。
- ・ プロモーションの方向性を定める。

## ② 参加者からの提案の内容

提案内容は、次に示す通りである。

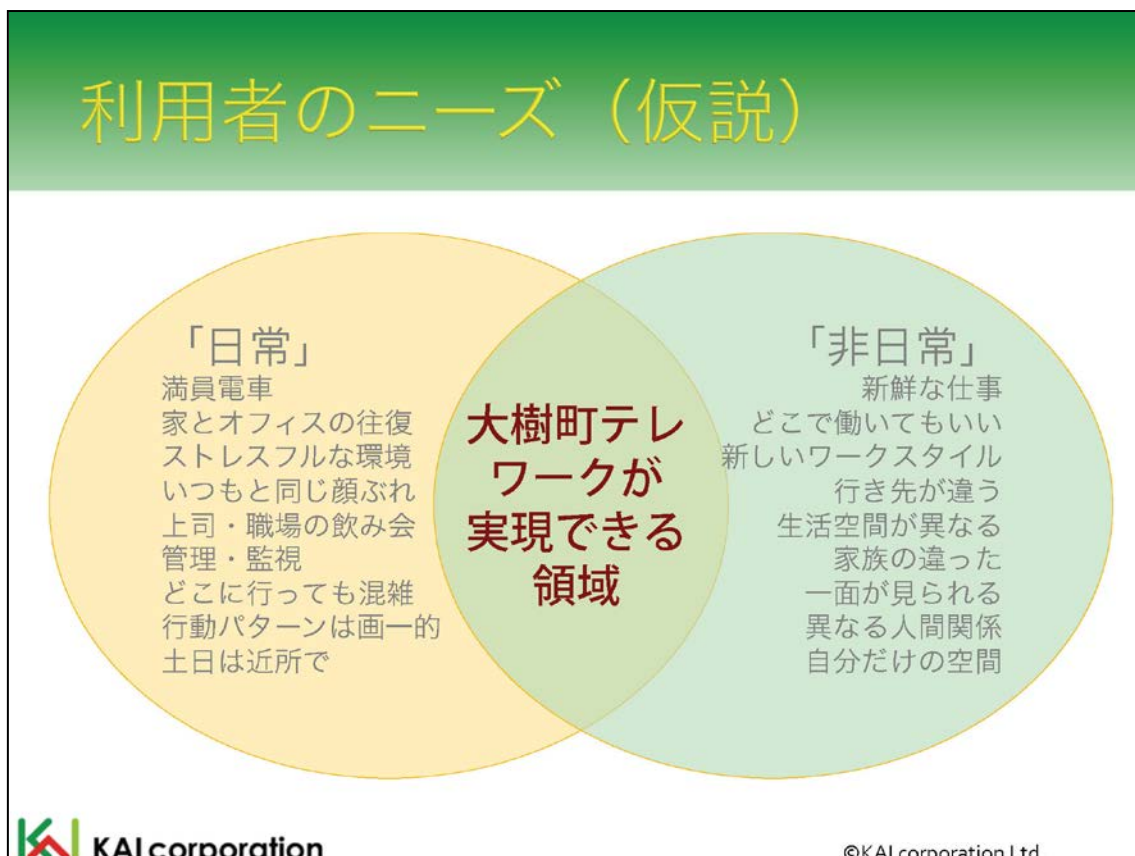
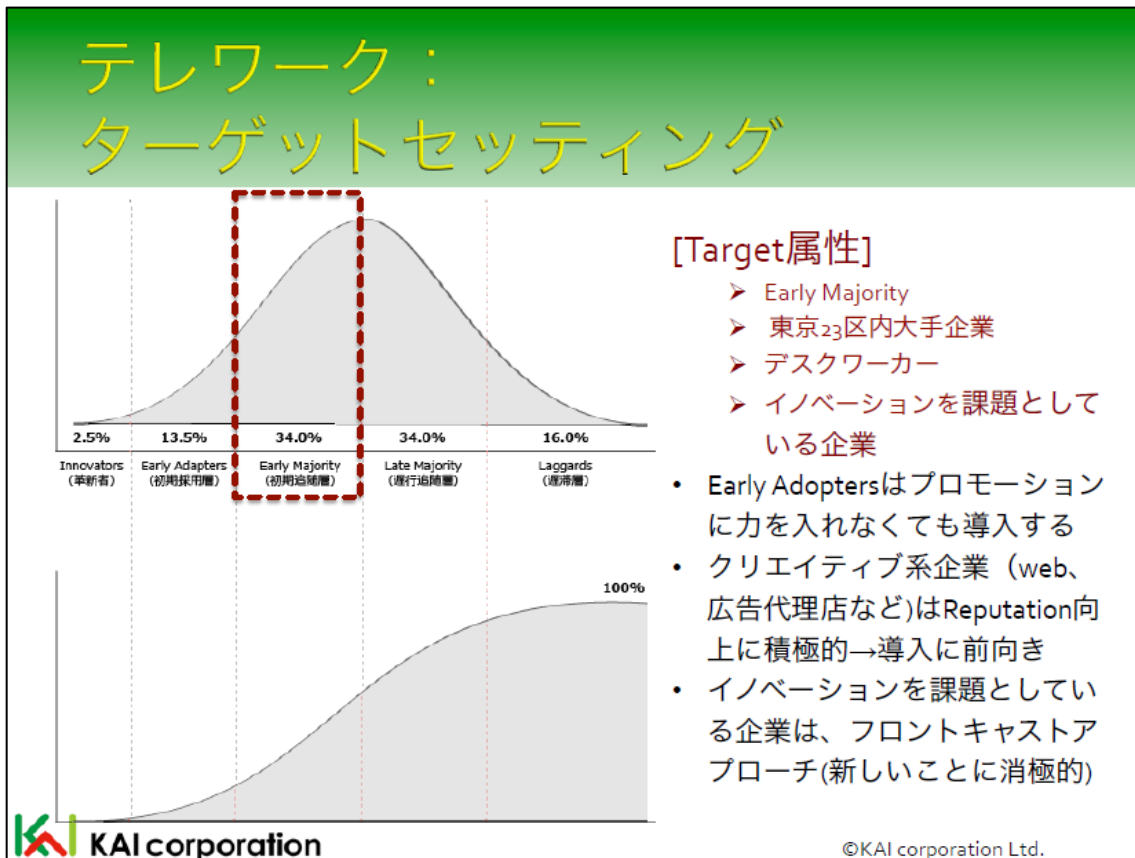


図 2-12 参加者からの提案の内容 (1/4)

## コンセプト(仮)

# 「旅するように仕事する」

場所にとらわれない、自由なワークスタイルの提案



 KAI corporation

©KAI corporation Ltd.

## プロモーションの方向性

- 協力企業を探す：NTT Dataと相談
- 企業の人事部向けにプロモーション
- 訴求内容は以下のとおり
  - 社員によるテレワーク利用のベネフィット
  - 導入しないことによるリスク
  - 導入時の懸念の解消（コンサルティング要）
- サービスネーミングの検討

 KAI corporation

©KAI corporation Ltd.

図 2-13 参加者からの提案の内容 (2/4)

# 2020に向けてのトレンド

2018-07-09 16:53



## 東京五輪期間中は「ネット通販ひかえて」 前回はなかった混雑リスク、協力呼びかけ

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック。特に東京五輪の大会期間中は、選手1万1000人、観客780万人、メディア関係者2万5000人が国内外から訪れると試算されている。選手はバス2000台、大会関係者用は乗用車4000台で、競技会場や宿泊施設などを移動する予定だ。



競技会場  
首都圏  
なる0

もしも何も対策をしなかった場合、鉄道の輸送客は通勤ラッシュ、高速道路の混雑は現在の2倍になると予想。通常の経済されることから、東京都と2020年東京五輪・パラリンピック現在、大規模な交通輸送計画を検討。東京地下鉄株式会社や駅構内のセキュリティ強化など、五輪に向けた取り組み

### ●朝の通勤ラッシュ軽減で、「企業は休業やボランティア休暇、時差出勤を」

多くの一般市民にとって、最も影響を受けるのは「通勤の足」である鉄道だろう。鉄道についても、混雑の激化が予測されている。

五輪の観戦客は、これまでの五輪同様、競技会場までは自家用車ではなく、電車やバスなどの公共交通機関の利用が求められる。さらに、区部のホテルは大会関係者やメディアが宿泊するため、遠方からの観戦客は千葉県や埼玉県など隣接する地域に宿泊することが想定されている。

「ラッシュのピーク時に大きな荷物を持った観戦客が千葉県や埼玉県から競技場に向かう電車に乗ってくると、ホームや通路で混雑が発生して、危険な状況が見込まれます」

### 滞留者数が膨らむ主な駅 (中央大の田口東教授の試算による)



## 企業向け訴求内容(案)

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時の通勤に対する備えは十分か？
  - 通勤困難者の想定
  - 通勤対策非協力企業のReputation低下
- 自宅リモートワークとの対立軸の明確化
  - 日常と非日常の違いによるメリット
  - 地方創生との掛け合わせによるReputationの向上



©KAI corporation Ltd.

図 2-14 参加者からの提案の内容 (3/4)

## 今後の進め方に関する考え方

- 最終ターゲットは、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うテレワーク需要の一部を取り込む形で本格導入を図る
- 2019年は大規模トライアルの実施が想定され、さらに就学児童の夏季休暇と重なるため、この時期に合わせてファミリー層を中心に導入を促進する
- 2018年は、11月のテレワーク月間の導入促進ニーズに対応するため、試験導入およびメディアを活用したプロモーションを加速する

図 2-15 参加者からの提案の内容 (4/4)

### ③ 提案に関する議論

今回、テレワークのターゲットを「アーリーマジョリティ」に設定した理由については、フリーランスだけでは訴求は弱く、テレワーカーとして定着しないことと、また一部の大手企業ではすでに導入について検討を開始しているため、大手企業を追随する企業に対してプロモーションを行うとよいと考えられたためである。

また、今回の実証実験のスキームをニクラウドと組み合わせることについては、効果があるものの、大樹町を始め地方の企業のリテラシーを向上させる必要があるという議論となった。

今後は、リテラシー向上のためのアクションが鍵となるという結論となった。



## 第3章 宇宙関連企業受入プランの事業化検討

### 3-1 調査概要

平成29年度調査において、視察モニター実証等の結果を踏まえて示された、大樹町における宇宙関連企業の受け入れプラン案について、地域の関係者等を含めて、プラン内容およびモニター選考について具体的に検討した。

実証調査では、モニター企業へのアンケート調査のほか、大樹町・地元企業との意見交換会を開催し、今後の宇宙関連企業受け入れやテレワーク活用に向けた方向性を検討した。

### 3-2 調査準備

#### 3-2-1 視察メニューの検討

視察内容は、昨年度の視察ツアーの見直し案をベースにした2泊3日のプランとして、参加企業からより具体的な実験・テレワーク等のニーズを聞き取るため、意見交換の時間を設けた。

航空宇宙関連としては、航空公園の視察、小型ロケットの打ち上げで注目されている地元企業インターステラテクノロジズ株式会社（IST）の工場や射点の見学を設定した。

大樹町PR関連としては、宿泊施設として市街地のホテルを利用し、町内施設視察として特色のある実験住宅群のメムメドウズや主要産業である酪農の最先端技術を導入したメガファームおよびバイオガスプラント、食事はすべて町内飲食店を利用し、焼き肉、豚丼、昨年度リクエストのあった海産物などを含めて、バランスを考慮して組み込んだ。

表 3-1 視察メニュー案

航空宇宙関連	大樹町航空公園視察 ・ SORA ・ 航空公園（滑走路、格納庫） 企業視察 ・ IST 工場 ・ 射点
テレワーク関連	意見交換会
大樹町 PR 関連	宿泊施設 ・ 市街地のホテル 町内施設視察 ・ メムメドウズ ・ メガファームおよびバイオガスプラント 食事 ・ 海産物、焼き肉、豚丼 など

### 3-2-2 モニター企業の選定

モニターツアーの案内は、宇宙関連企業として、中小・ベンチャー宇宙ビジネス研究会（略称：ニュースペース研究会）メンバーのうち、企業 26 社に郵送した。

また、地元企業で、ニュースペース研究会のメンバーでもある IST と案内先について協議し、宇宙関連企業に限らず、広く大樹町を知る機会としてもらうため、産業用ドローンや遠隔操作などに取り組むベンチャー企業 8 社にも案内を郵送した。

合計 8 社から応募があり、各社 1 名をモニターとして受け入れることを決定した。

表 3-2 視察モニター案内先企業（34 社）および応募企業（8 社）

所属	応募	分野	所在地
ニュースペース研究会	1	ロケット、宇宙データ利用	東京都
	2	ロボット、月惑星資源開発	東京都
	3	○ 衛星開発運用	神奈川県
	4	○ 小型衛星製造サービス	東京都
	5	宇宙通信システム	東京都
	6	スペースデブリ回収	東京都
	7	宇宙アンテナシェアリング	東京都
	8	ICT、水産養殖	東京都
	9	人工流れ星	東京都
	10	小型衛星開発、小型衛星管理用基盤製作	福岡県
	11	○ ロケット、デブリ回収	東京都
	12	宇宙機器	福井県
	13	欧米宇宙	神奈川県
	14	○ スペースプレーン	東京都
	15	衛星データ利用	東京都
	16	超小型衛星打上げサービスプロバイダ	東京都
	17	○ 宇宙ビジネス、宇宙旅行	東京都
	18	○ 衛星製造	東京都
	19	○ 宇宙部品	神奈川県
	20	コンサルティング	東京都
	21	有人宇宙航空機開発	愛知県
	22	超小型衛星開発・運用・利用	北海道
	23	宇宙ビジネス	東京都
	24	ロケット	東京都
	25	衛星製造	東京都
	26	○ 宇宙環境利用	茨城県
その他	27	ウェアラブルランシーバー	東京都
	28	自動運転	東京都
	29	農業用マルチコプター	東京都
	30	遠隔操作ロボット	東京都
	31	車両管理、スマートカー	東京都
	32	ウェアラブルデバイス、IoT データ分析	宮城県
	33	スマートモビリティ	東京都
	34	産業用ドローン	東京都

## 大樹町視察モニターツアーのご案内・お申し込みについて



### 日程

2018年11月5日（月）～2018年11月7日（水） 2泊3日

### 内容

●当日予定している視察内容は以下の通りです。（都合により変更する場合がございます）

●スケジュール、費用負担については裏面をご覧ください。

- ①大樹町宇宙交流センターSORAの見学・説明会
- ②大樹町多目的航空公園（滑走路、格納庫など）の視察
- ③地元企業見学会

・ インターステラテクノロジズ（IST）の工場見学

④意見交換会・交流会

・ 大樹町、地元企業、参加企業との意見交換

⑤町内のご案内

- ・ 航空公園周辺の自然環境：南と東に広がる太平洋、約30km続く平坦な地形
- ・ メムメドウス：LIXIL 住生活財団の実験住宅群
- ・ サンエイ牧場バイオガスプラント：国内最大級のプラントで、メタンガスを燃料として発電



SORA



大樹町多目的航空公園



IST（射点・工場）



メムメドウス



サンエイ牧場

### お申し込み

●ご参加を希望される場合は、**10月5日（金）まで**にメールでお申し込みください。

<ご記入事項> ①会社名  
 ②参加される方の名前・所属・役職・性別・年齢  
 ③連絡先（電話番号、住所）  
 ④貴社最寄り駅から羽田空港までの移動経路 ※道内企業様は帯広駅までの移動経路

<お申込・お問い合わせ先> 株式会社ドーコン 総合計画部 担当：本間  
 【メール】hh1632@docon.jp 【電話】011-801-1555

図 3-1 案内パンフレット (1/2)

## 行程

- 視察の行程は都合により変更する場合がございます。恐れ入りますがご了承ください。

日程	内容	お食事
11/5 14:00	帯広空港集合（12:15-13:50 羽田～帯広、AD065 便）※	—
15:00	説明会、参加企業による会社紹介 など	—
17:30	宿泊施設へ移動	夜 町内施設
11/6 9:00	施設見学、企業見学会、意見交換会 など	朝 宿泊施設
17:00	宿泊施設へ移動	昼 自己負担
18:00	懇親会	夜 懇親会場
11/7 9:00	町内バス見学（メムメドウズ、サンエイ牧場）	朝 宿泊施設
13:30	帯広空港解散（14:30-16:15 帯広～羽田、AD066 便）	昼 自己負担

※道内企業様の場合は、帯広駅集合・解散となります

## 費用負担

- 参加にかかる費用については、1企業につき1名様まで、事務局でお支払いいたします（昼食のみ自己負担となります）。詳細は以下をご覧ください。

事務局でお支払いするもの（1企業につき1名様まで）	ご負担いただくもの
①交通費：弊社規定の往復交通費をお支払いします。（現金/振込） <u>手配はご自身でお願いします。</u> ・ 貴社最寄り駅から羽田空港までの往復交通費（前泊費は含まず） ・ 羽田空港～帯広空港までの往復交通費 ※道内企業様の場合は：貴社最寄り駅から帯広駅までの往復交通費 ②宿泊費：弊社指定の宿泊施設にお泊りいただきます。 ③懇親会費	①11/6、11/7の昼食にかかる 飲食費 ②2名様以上で参加する場合 追加人数分の交通費、宿泊 費、懇親会費

## 留意事項

- 複数名での参加をご希望の方は、ご相談ください。
- 応募者多数の場合は、選考の上、結果をご連絡いたします。
- 集合場所から町内施設までの移動はすべてバス移動となります。
- 参加者については、万一の事故に備えて主催者側で障害保険に加入します。

図 3-2 案内パンフレット (2/2)

### 3-3 調査結果

#### 3-3-1 実施内容

当日の視察スケジュールは以下の通り実施した。

表 3-3 当日の視察スケジュール

月日	開始時間	終了時間	所要時間	項目	場所
11/5 (月)	11:45	12:00	15分	準備	大樹町役場 会議室
	13:00	13:40	40分	バス移動	大樹町内⇒帯広空港
	13:40	14:20	40分	モニター送迎	帯広空港
	14:20	15:00	40分	バス移動	帯広空港⇒大樹町役場
	15:00	15:30	30分	説明会	大樹町役場
	15:30	15:40	10分	休憩・準備	
	15:40	17:30	110分	会社紹介	
	17:30	17:40	10分	バス移動	大樹町役場⇒HOTEL TAIKI
	17:40	17:50	10分	休憩	HOTEL TAIKI
	17:50	18:00	10分	徒歩移動	HOTEL TAIKI⇒一膳食堂
	18:00	20:00	120分	懇親会	一膳食堂
	20:00	20:10	10分	徒歩移動	一膳食堂⇒HOTEL TAIKI
20:10	-		宿泊	HOTEL TAIKI	
11/6 (火)	9:00	-		集合	HOTEL TAIKIロビー
	9:00	9:30	30分	バス移動	HOTEL TAIKI⇒航空公園
	9:30	10:00	30分	大樹町取組説明	SORA
	10:00	10:20	20分	SORAの見学	
	10:20	11:20	60分	航空公園視察	航空公園
	11:30	12:00	30分	質疑応答	SORA
	12:00	12:30	30分	昼食・休憩	
	12:30	13:00	30分	バス移動	SORA⇒射点
	13:00	13:50	50分	IST視察	射点
	13:50	14:00	10分	バス移動	射点⇒IST
	14:00	14:30	30分	企業見学	IST
	14:30	14:40	10分	バス移動	IST⇒SORA
	14:40	16:40	120分	質疑応答 意見交換	SORA
	16:40	17:00	20分	バス移動	SORA⇒HOTEL TAIKI
	17:00	17:50	50分	休憩	HOTEL TAIKI
	17:50	18:00	10分	徒歩移動	HOTEL TAIKI⇒だいじゅ園
	18:00	20:00	120分	懇親会	だいじゅ園
20:00	20:10	10分	徒歩移動	だいじゅ園⇒HOTEL TAIKI	
20:10	-		宿泊	HOTEL TAIKI	
11/7 (水)	9:00	-		集合	ホテルTAIKIロビー
	9:00	9:20	20分	バス移動	ホテルTAIKI⇒メムメドウズ
	9:20	10:20	60分	施設見学①	メムメドウズ
	10:20	10:30	20分	バス移動	メムメドウズ⇒サンエイ牧場
	10:30	11:30	60分	施設見学②	サンエイ牧場
	11:30	11:50	20分	バス移動	サンエイ牧場⇒源ファーム
	11:50	12:50	60分	昼食	源ファーム
	12:50	13:20	30分	バス移動	源ファーム⇒帯広空港
13:20	13:30	10分	モニター送迎	帯広空港	

### 3-3-2 視察結果

各見学先における視察結果について、参加者からの意見を含め、以下に整理する。

#### (1) 説明会及び会社紹介

空港からバスで移動し、道の駅経由で町内中心部を案内後、役場に向かい、会議室において説明会を実施した。ツアーの目的、行程、留意事項などについて説明を行った。

その後、参加企業およびインターステラテクノロジズ株式会社による会社紹介を行った。



図 3-3 説明会及び会社紹介の様子

## (2) 航空公園視察

航空公園の視察としては、SORAの展示見学、大樹町からの宇宙のまちづくりの取組説明を行った後、格納庫、JAXA施設（格納庫）、滑走路の視察を行った。施設の説明は大樹町及びJAXA職員が行った。



図 3-4 航空公園視察の様子

### (3) 企業見学（射点・IST 工場）

企業見学として、IST の射点および工場を視察した。説明は IST 社員が担当した。

当日タイミングが合ったため、IST の射点施設の視察にあわせて実験の見学を行った。航空公園の視察終了後、IST 工場の視察を行った。



図 3-5 企業見学の様子



#### (4) 意見交換会

IST の見学内容に対する質疑応答、大樹町への来訪・進出に関する課題・展望、進出先としての環境・条件（情報提供含む）、テレワーク環境ニーズに関して、SORA 内の会議室で、意見交換を行った。



図 3-6 意見交換会の様子

#### (5) 懇親会

懇親会については、参加者、町関係者が参加して町内飲食店にて行った。



図 3-7 懇親会の様子

(6) メムメドウズの見学

町内施設見学として、メムメドウズを見学した。施設管理者が同行して説明を行い、主要な施設の内部・外部を視察した。



図 3-8 メムメドウズの見学の様子

### (7) サンエイ牧場の見学

町内施設見学として、サンエイ牧場を見学した。牧場の代表者が同行して説明を行い、バイオガスプラント、ロータリーパーラーなどを視察した。



図 3-9 サンエイ牧場の見学の様子

### (8) 昼食（ファームレストラン）

最終日の昼食はファームレストランとした。



図 3-10 昼食後の記念撮影の様子

### 3-3-3 モニターアンケート調査

#### (1) 調査内容

モニターツアーの検証のため、参加者にアンケートを配布し、視察内容の満足度や改善点などを調査した。

初日にアンケート用紙を渡し、ツアー中に随時記入してもらった。

調査項目は以下の内容とした。

- (1) モニターツアーの満足度について
- (2) 今回の視察メニューについて
- (3) 大樹町のイメージについて
- (4) 今後の来訪意向について
- (5) サテライトオフィスなどの環境整備について

**大樹町視察モニターツアー アンケート**

ご所属 ( ) お名前 ( )

**(1) モニターツアーの満足度と良かった点・改善すべき点について**

1 日目						
①参加企業による会社 紹介	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点					
	改善すべき点					
2 日目						
②大樹町宇宙交流セン ターSORAの見学・ 説明	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点 (記述)					
	改善すべき点 (記述)					
③大樹町多目的航空公 園の視察 (滑走路、格納庫など)	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点 (記述)					
	改善すべき点 (記述)					
④企業見学 (ISTの射点、工場)	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点 (記述)					
	改善すべき点 (記述)					
⑤意見交換会	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点 (記述)					
	改善すべき点 (記述)					
3 日目						
⑥メムメドウズの見 学・説明	満足度 (1つに○)	1.満足	2.やや満足	3.普通	4.やや不満	5.不満
	良かった点					
	改善すべき点					

図 3-11 参加者アンケート (1/5)

⑦サンエイ牧場の見 学・説明	満足度 (1つに○)	1.満足 2.やや満足 3.普通 4.やや不満 5.不満
	良かった点	
	改善すべき点	
<b>全 体</b>		
⑧宿泊施設 (HOTEL TAIKI)	満足度 (1つに○)	1.満足 2.やや満足 3.普通 4.やや不満 5.不満
	良かった点 (記述)	
	改善すべき点 (記述)	
⑨大樹町へのアクセス (貴社～大樹町)	満足度 (1つに○)	1.満足 2.やや満足 3.普通 4.やや不満 5.不満
	良かった点	
	改善すべき点	
⑩食事	満足度 (1つに○)	1.満足 2.やや満足 3.普通 4.やや不満 5.不満
	良かった点	
	改善すべき点	
⑪全体の満足度	満足度 (1つに○)	1.満足 2.やや満足 3.普通 4.やや不満 5.不満
	良かった点	
	改善すべき点	

- 2 -

図 3-12 参加者アンケート (2/5)

## (2) 今回の視察メニューについて

### ① 今回の視察メニューのうち、有意義だと思った内容は何ですか？(あてはまるもの全てに○)

1. 大樹町宇宙交流センターSORAの見学・説明
2. 大樹町多目的航空公園の視察(滑走路、格納庫など)
3. 企業見学(ISTの射点、工場)
4. 参加企業による会社紹介
5. 意見交換会
6. 質疑応答(バス内、SORA)
7. メムメドウズの見学
8. サンエイ牧場の見学
9. その他( )

### ② 今回の視察メニュー以外で、大樹町で、見学・体験したり、説明を受けたかったと感じたことを教えてください(航空宇宙に関すること以外も含めてお答えください)(記述)

--

### ③ 今回のような視察ツアーが大樹町であるとしたら、企業としてどの程度参加したいと思いますか？(1つに○) ※大樹町に来たことがないと仮定としてお答えください

1. 参加費・交通費を支払って参加したい  
⇒ 参加費として支払ってもいい金額(一人 円程度)
2. 交通費が不要なら、参加費を支払って参加したい  
⇒ 参加費として支払ってもいい金額(一人 円程度)
3. 参加費が不要なら、交通費を支払って参加したい
4. 参加費も交通費も不要なら、参加したい
5. 参加したいと思わない
6. その他( )

### ④ 今回のような複数企業での視察、または企業単独での視察のどちらが良いですか？(1つに○)

1. 複数企業での視察がよい
2. 企業単独での視察がよい
3. どちらでもよい
4. その他( )

【理由】

図 3-13 参加者アンケート (3/5)

### (3) 大樹町のイメージについて

① モニターツアーに参加する前、大樹町についてどのようなイメージをお持ちでしたか？ (記述)

--

② モニターツアーに参加した後、大樹町のイメージが変わった点、理解が深まった点があれば教えてください。(記述)

大樹町のイメージ が変わった点	
大樹町について理 解が深まった点	

### (4) 今後の来訪意向について

① 企業として、大樹町への来訪・進出意向(実験、営業、事業拡大など)はありますか？(1つに○)  
また、その理由、来訪・進出の目的、大樹町への要望などを教えてください(記述)

	1. 今後、来訪・進出を検討したい 2. わからない 3. 来訪・進出したいと思わない 4. その他 ( )
理由	
大樹町への来訪・ 進出の目的	
大樹町への要望	

図 3-14 参加者アンケート (4/5)





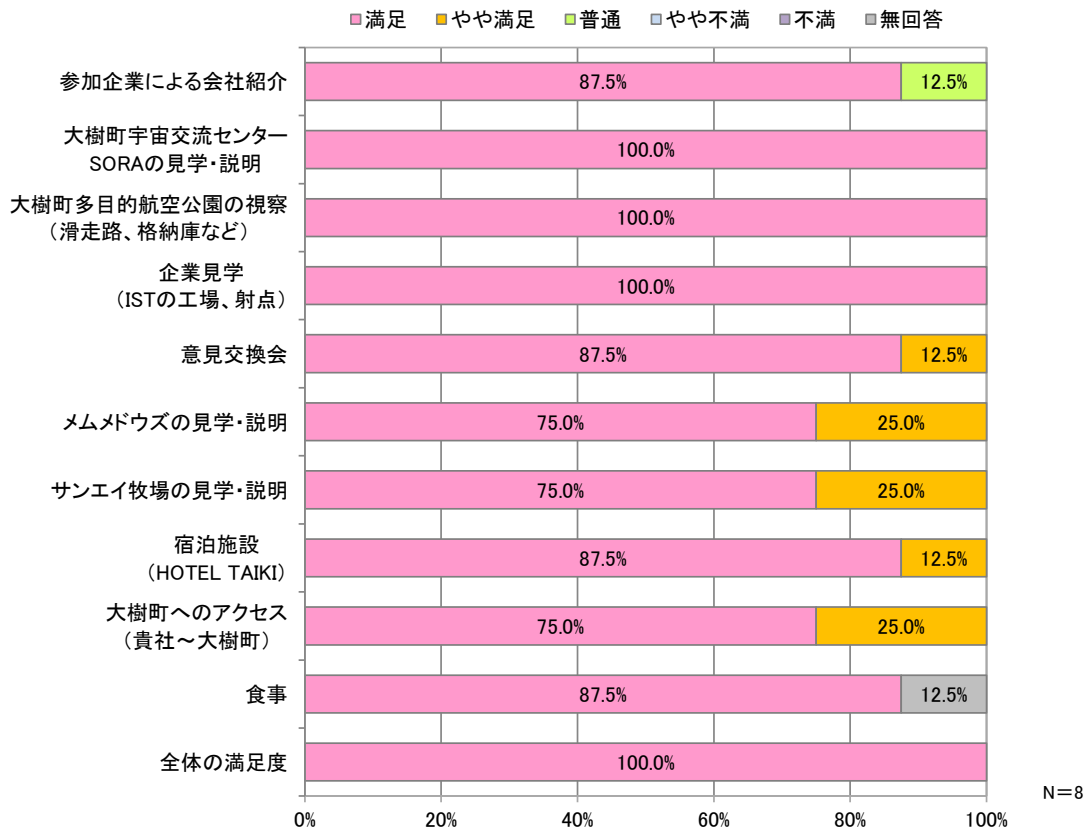
(2) 調査結果

① モニターツアーの満足度と良かった点・改善すべき点について

モニターツアーの全体の満足度は、「満足」が100%となっている。

「満足」が100%の項目は、大樹町宇宙交流センター、大樹町多目的航空公園の視察、企業見学（ISTの工場、射点）であった。

表 3-4 モニターツアーの満足度

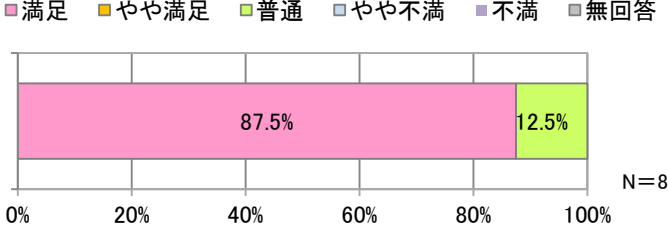


①-1 参加企業による会社紹介

参加企業による会社紹介は、「満足」が87.5%、「普通」が12.5%であった。

良かった点について、参加人数・時間が適切だったという意見がある一方、改善すべき点では、質疑応答が少ないという意見もあった。

表 3-5 参加企業による会社紹介の満足度

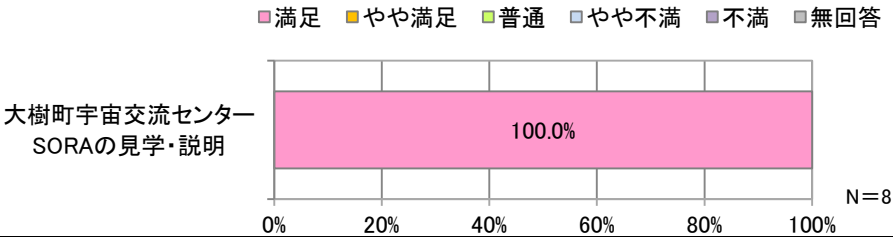
満足度	 <p>参加企業による会社紹介</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100% N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数であり、参加者同士の情報交換も出来たこと。</li> <li>・ 時間の長さが適切</li> <li>・ 8社でしたので説明会のボリュームが丁度良かった。</li> <li>・ インターステラさんの状況が知れた事。</li> <li>・ しっかり各社の説明、大樹町への期待が聞けた。</li> <li>・ 参加会社の概要がわかっていい。</li> <li>・ 各社10分以内のプレゼンは時間が適切だったと思う。</li> <li>・ 各社の業務内容が、短時間でわかった</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電プレに統一しても良いのでは。</li> <li>・ 一辺倒な会社説明になりがちだった。(質疑応答が少なかった。)</li> <li>・ 大樹町からの質疑応答があれば良かったのでは？</li> </ul>

①-2 大樹町宇宙交流センターSORAの見学・説明

大樹町宇宙交流センターSORAの見学・説明は、「満足」が100%であった。

設備・展示物については評価が高かったが、もっとアピールした方がいい、という声もあった。

表 3-6 大樹町宇宙交流センターSORAの見学・説明の満足度

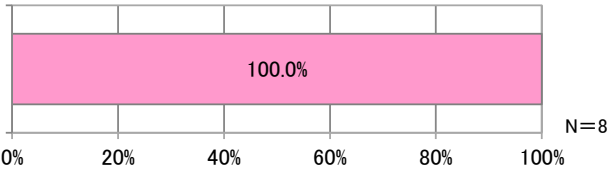
満足度	 <p>大樹町宇宙交流センター SORAの見学・説明</p> <p>100.0%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百聞は一見にしかずでした。音響のウーハーはGOOD!です。</li> <li>・ 丁寧な説明</li> <li>・ 会議室や展示スペースが充実していた</li> <li>・ 広々とした会議室と素晴らしい音響設備でした。</li> <li>・ 設備が充実しており、是非利用したい。</li> <li>・ スペースポート構想の展示物があり、もっとアピールしてもいいと思う</li> <li>・ 展示物が新しい。今後とも新しいパネルに入れ替えすると良いと思う。</li> <li>・ 写真撮影が、各所で自由で良かった。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町主催の市民イベントのVIDEOを、もっとアピールしてはどうですか？</li> <li>・ 自販機にホットの飲料をおいてほしい。</li> <li>・ 予算的には難しいかもしれませんが、常駐の説明員兼管理人がいたら、訪問者とのコミュニケーションが取れて良いかもしれません。</li> </ul>

①-3 大樹町多目的航空公園の視察

大樹町多目的航空公園の視察は、「満足」が100%であった。

滑走路や格納庫を実際に目にすることができ良かったとの意見もあり、ビジネス展開も期待される。改善すべき点では、実際に滑走路を走って見たかった、格納庫の改造提案の意見があげられた。

表 3-7 大樹町多目的航空公園の視察の満足度

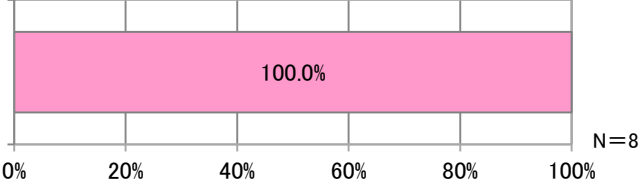
満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足    <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足    <span style="color: #9ccc65;">■</span> 普通    <span style="color: #90caf9;">■</span> やや不満    <span style="color: #9c27b0;">■</span> 不満    <span style="color: #607d8b;">■</span> 無回答         </div>  <p style="text-align: center;">大樹町多目的航空公園の視察 (滑走路、格納庫など)</p> <p style="text-align: right;">N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百聞は一見にしかずでした。JAXA 格納庫見学は時間的にも（ゆっくり見学できて）良いと思います。</li> <li>・ 普段見られない所も見学できた</li> <li>・ 滑走路、格納庫ともに試作品などの試験には十分と思う</li> <li>・ 写真より壮大な滑走路と JAXA 格納庫を確認できた事は弊社のプロジェクトにおいて、とても大きなメリットです。</li> <li>・ 図面があり、具体的なビジネス的検討ができた。</li> <li>・ 実験する環境が整っている。制約が少ない。</li> <li>・ 滑走路を歩いた経験なく良かった。JAXA 格納庫は大きくてインパクトがあった。</li> <li>・ 滑走路、格納庫が体感できた。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少々間のびした感がありましたが、皆様の意見はどうでしょうか？私的にはOKでしたが。</li> <li>・ 滑走路を走って見たかった（私感）</li> <li>・ もし要望があれば、格納庫の事務所としてトイレをつぶして、間口 20 m弱の格納庫に改造しても良いかもしれない。</li> </ul>

①-4 企業見学（ISTの工場、射点）

企業見学は、「満足」が100%であった。

担当者からの説明や射点・工場の見学は満足度が高かった。

表 3-8 企業見学（ISTの工場、射点）の満足度

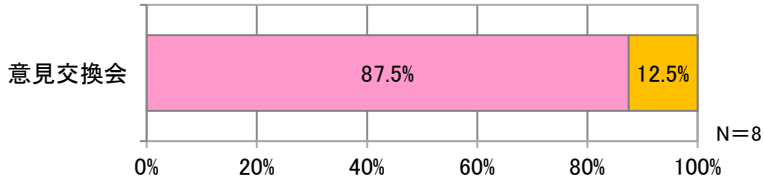
満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足    <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足    <span style="color: #c6e0b4;">■</span> 普通    <span style="color: #9ecae1;">■</span> やや不満    <span style="color: #808080;">■</span> 不満    <span style="color: #cccccc;">■</span> 無回答         </div> 
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真の制限が限定的で OPEN な感じを受けた。</li> <li>・ 試験が見られた事</li> <li>・ 植松氏の説明がとてもためになりました。</li> <li>・ 実際の打上現場を見れた事は貴重な体験。</li> <li>・ 開発の現場、インフラの状況が調査できて良かった。</li> <li>・ 他社の施設を、オープンに視察できる機会は、貴重であり、いい刺激になる。</li> <li>・ 燃烧実験を見ることができた。（偶然かもしれないが）</li> <li>・ 全てを見せて頂いた。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MOM2 の事故後のありさまは、現場はきれいにして写真パネル等で、保存した方が良いのではと思います。</li> <li>・ 寒かった。</li> <li>・ 少々寒かった。</li> </ul>

### ①-5 意見交換会

意見交換会については、「満足」が 87.5%、「やや満足」が 12.5%であった。

良かった点では、様々な意見交換ができたとの声が多かった。改善すべき点では、大樹町からの質疑もあった方がいいという意見もあった。

表 3-9 意見交換会の満足度

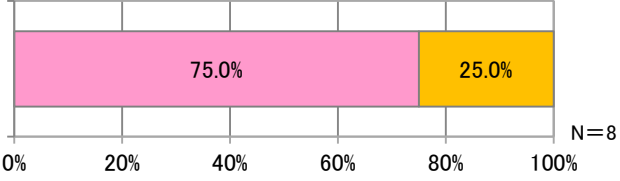
満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足    <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足    <span style="color: #c8e6c9;">■</span> 普通    <span style="color: #bbdefb;">■</span> やや不満    <span style="color: #9c27b0;">■</span> 不満    <span style="color: #9e9e9e;">■</span> 無回答         </div>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>意見交換会の満足度データ</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	87.5%	やや満足	12.5%	普通	0%	やや不満	0%	不満	0%	無回答	0%
満足度	割合														
満足	87.5%														
やや満足	12.5%														
普通	0%														
やや不満	0%														
不満	0%														
無回答	0%														
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは大樹町の企画商工課の皆様の本気度を感じました。参加者とIST、役所の交流は目標レベルを達成ですね。</li> <li>・ 確認したい事が確認できた</li> <li>・ 素直な意見交換ができたと思う</li> <li>・ 既存の設備の有効利用をご検討されているのが好感が持てました。</li> <li>・ サテライトオフィス計画など、意見交換できて良かった。</li> <li>・ ISTの今後の動きと町の設備の拡張方針がわかったこと。</li> <li>・ 同業種が集まっていたので、様々な貴重な意見を聞くことができた。</li> <li>・ 雑談も含めて、色々なお話が聞けた。</li> </ul>														
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町から聴きたい話題があっても良かったのでは？</li> </ul>														

### ①-6 メムメドウズの見学・説明

メムメドウズの見学・説明では、「満足」が75.0%、「やや満足」が25.0%であった。

作品の評価が高く、宿泊や研修施設として利用したいとの意見があった一方で、時間が足りなかったという意見もあった。

表 3-10 メムメドウズの見学・説明の満足度

満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #ff69b4;">■</span>満足 <span style="color: #ffa500;">■</span>やや満足 <span style="color: #90ee90;">■</span>普通 <span style="color: #add8e6;">■</span>やや不満 <span style="color: #800080;">■</span>不満 <span style="color: #808080;">■</span>無回答         </div> 
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアはすばらしい。ブレークしそうですね。宇宙関連イベントで利用できますね。</li> <li>・ 優秀な作品を建築してしまうところが他にはない魅力</li> <li>・ 打上げイベントの際の宿泊施設として有効利用できそう。</li> <li>・ 感性にひびく、すばらしい作品。企業合宿の場所として利用したい。</li> <li>・ 場所もよく、会議室付の施設は研修に使いえそうである。</li> <li>・ 宇宙とは関係なかったが新しい取り組みを見学できて良かった。</li> <li>・ 旧大樹町ファームの活用に感心しました。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV 広報など、もっとしてはいかがでしょうか？</li> <li>・ 時間が足りない印象でした</li> <li>・ 1日1組4名までという部分を増やしていけるかどうか。</li> <li>・ 今後の発展がやや不明でした</li> </ul>

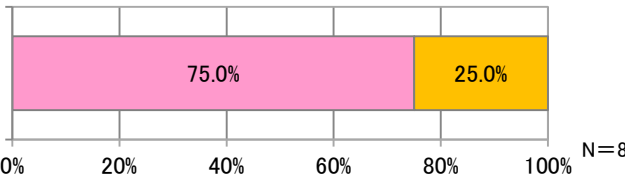


①-7 サンエイ牧場の見学・説明

サンエイ牧場の見学・説明は「満足」が75.0%、「やや満足」が25.0%であった。

バイオ燃料が高評価され協業が期待される企業もあがったが、人手不足に対する課題の声もあった。

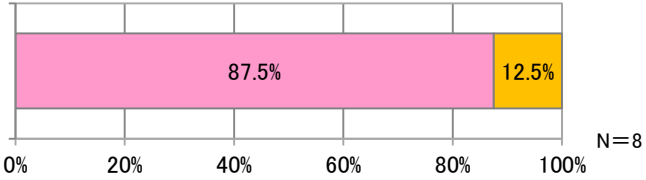
表 3-11 サンエイ牧場の見学・説明の満足度

満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足    <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足    <span style="color: #c6e0b4;">■</span> 普通    <span style="color: #9ecae1;">■</span> やや不満    <span style="color: #808080;">■</span> 不満    <span style="color: #cccccc;">■</span> 無回答         </div>  <p style="text-align: center;">サンエイ牧場の見学・説明</p> <p style="text-align: right;">N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラント全体が理解できました。3日目のメニューとしてOKです。</li> <li>・ 大規模な酪農を見学し、バイオ発電の素直な意見を聞いた点</li> <li>・ メタンの有効利用として協業ができそう。SPACE WALKERは、LOXメタン(LNG)エンジンの使用を検討しておりますので、地産地消のエネルギー好循環で協業Pointが次々あると感じました。</li> <li>・ メタンエンジンの燃料として利用できないかと今後検討したい。</li> <li>・ バイオプラントの施設のすばらしさが実感できた。</li> <li>・ 宇宙とは関係なかったが、先進的な取り組みを見学できて良かった。</li> <li>・ バイオ燃料、外国人労働者の課題、ロボティクスの可能性</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人手不足が特長の懸案とのことでしたので、ロボット化に対する要望や問題点などの議論ができると良かった。</li> <li>・ 確認したい点：メタンを液化して売る計画はどうか？</li> </ul>

①-8 宿泊施設 (HOTEL TAIKI)

宿泊施設については、「満足」が87.5%、「やや満足」が12.5%であった。部屋、大浴場、設備が高評価であったが、部屋の匂い（煙草）やカーテンが破れていたという不満の声もあった。

表 3-12 宿泊施設 (HOTEL TAIKI) の満足度

満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足    <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足    <span style="color: #c6e0b4;">■</span> 普通    <span style="color: #9ecae1;">■</span> やや不満    <span style="color: #808080;">■</span> 不満    <span style="color: #cccccc;">■</span> 無回答         </div>  <p style="text-align: center;">宿泊施設 (HOTEL TAIKI)</p> <p style="text-align: right;">N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広さ、新しさ等、問題なしです。（他の施設は知りませんが、十分なレベルです）</li> <li>・ 設備が清潔で、ホテルの従業員の方が親切</li> <li>・ 部屋も広々としていて、大浴場もキレイ</li> <li>・ お世話になりました。</li> <li>・ ラウンジで、交流ができた。風呂好きにとって大きな湯舟がよかった。</li> <li>・ 綺麗でベッドも広く、大浴場もある。</li> <li>・ フリードリンクスペースが良かった。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約の都合で、他施設となった場合が判りません。次回も、可能ならここを利用下さい。</li> <li>・ 禁煙ルームでないため、ニオイが・・・</li> <li>・ 部屋のカーテンがすり切れて破れていました</li> <li>・ 大浴場の利用時間が少々短いように感じました。</li> <li>・ 宇宙開発が活発になったら、ホテルの部屋数が足りなくなると思う。</li> <li>・ 夜中になぜか暖房が OFF となりました。</li> </ul>

### ①-9 大樹町へのアクセス

大樹町へのアクセスについて、「満足」が75.0%、「やや満足」が25.0%であった。東京-帯広間のアクセスの良さを感じている声が多く、空港からのアクセスも良いとの意見もあった。高速道路ができると更に近くなるので、アクセスの良さをもっと周知させることが必要であると感じた。

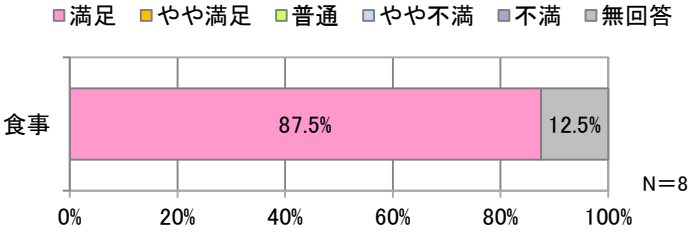
表 3-13 大樹町へのアクセスの満足度

満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #ff69b4;">■</span> 満足   <span style="color: #ffa500;">■</span> やや満足   <span style="color: #90ee90;">■</span> 普通   <span style="color: #add8e6;">■</span> やや不満   <span style="color: #800080;">■</span> 不満   <span style="color: #808080;">■</span> 無回答         </div> <div style="text-align: center;"> <p>大樹町へのアクセス (貴社~大樹町)</p> <p>0%   20%   40%   60%   80%   100%   N=8</p> </div>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想像以上に近いですね。フライト7便、空港アクセスの近さを感じました。</li> <li>・ 羽田からのアクセスが思ったより良い</li> <li>・ 羽田からのアクセスが想像以上に便利</li> <li>・ 東京からのアクセスが非常に良い。</li> <li>・ 空港からも、国道を使わずでも快適に来れた。</li> <li>・ 帯広からも比較的近い。高速道路ができる予定とのことで尚良い。</li> <li>・ 帯広空港からのアクセスの良さ。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記をもっとアピールしては？</li> <li>・ 高速道路が延びるとさらに近くなる</li> <li>・ (ツアー以外の場合) 空港から町中へのアクセスが心配</li> <li>・ 前のりして帯広も体験したかった。</li> </ul>

①-10 食事

食事は、「満足」が87.5%、「無回答」が12.5%だった。  
美味しかった、名物が食べられたとの意見が多かった。

表 3-14 食事の満足度

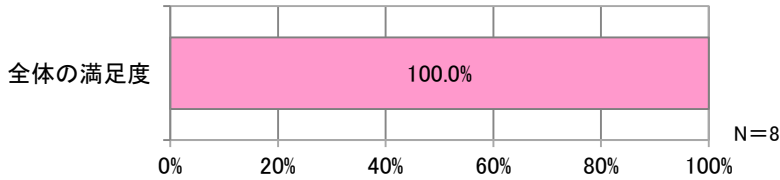
満足度	 <p>■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満 ■無回答</p> <p>食事 87.5% 12.5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100% N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1日、第2日ともに問題ありません。夜食は(1日目)、2Hで仕切るのもGOODです。</li> <li>・ めずらしいものが食べられた(八角の焼物、豚井+うなぎのタレ)</li> <li>・ 毎食とてもおいしかったです。</li> <li>・ すべておいしかったです。</li> <li>・ 豚井が食べれてよかった。</li> <li>・ 非常に有意義な時間でした。</li> <li>・ 全ておいしかったです。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日目のお寿司は少し高い印象</li> <li>・ チーズ丼も食べれたらよかった。</li> </ul>

### ①-11 全体の満足度

全体の満足度については、「満足」が100%であった。

施設、企業との交流についての評価が多く、満足度が高かった。改善すべき点では、スケジュールの調整、若手との意見交換を希望する声もあがった。

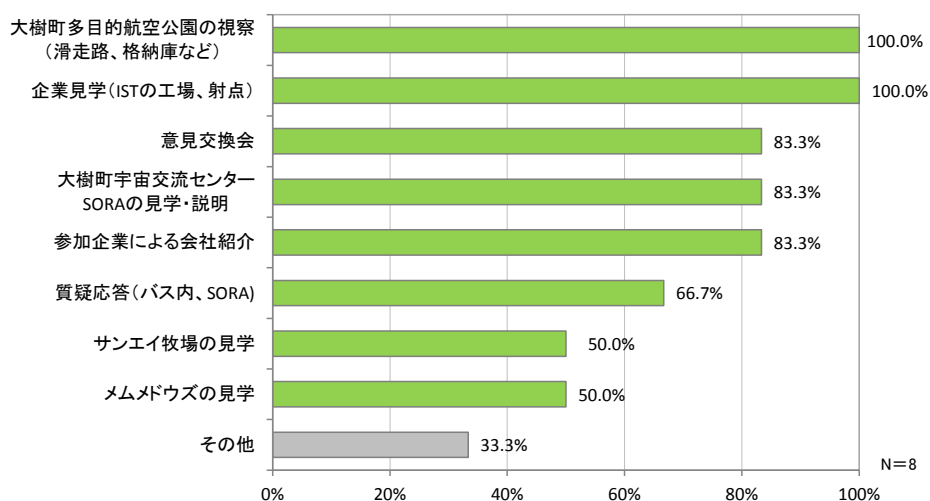
表 3-15 全体の満足度の満足度

満足度	<div style="text-align: center;"> <span style="color: #e91e63;">■</span> 満足 <span style="color: #ffc107;">■</span> やや満足 <span style="color: #c6e0b4;">■</span> 普通 <span style="color: #9ecae1;">■</span> やや不満 <span style="color: #808080;">■</span> 不満 <span style="color: #cccccc;">■</span> 無回答         </div>  <p style="text-align: center;">全体の満足度 100.0%</p> <p style="text-align: right;">N=8</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回目のイベントとして完成度は高いと思います。プレスを呼ぶアイデアに賛成！</li> <li>・ 普段会話の機会が少ないベンチャー企業と話ができた。大樹町を訪問して滑走路などの実物を見ることができた。</li> <li>・ 菊地さんが美しかった。</li> <li>・ 射場選定には、射場の魅力だけでなく、長期滞在者のための住環境、インフラ、周辺産業、立地等も条件になるため、今日町全体を見れた事はとても参考になった。</li> <li>・ 施設が見れて、特にISTには刺激を受けた。</li> <li>・ 黒川さんの情熱がすばらしかった。</li> </ul>
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3日は長いかも。(多忙な時期は参加不可) 2日なら、違う人達も参加が可になるかもしれません。</li> <li>・ 1日のスケジュールをもう少し長めにしてさらに充実させても良いと思います</li> <li>・ 若い方々のお話しが聞きたかった。</li> </ul>

## ② 今回の視察メニューについて

### ②-1 今回の視察メニューのうち、有意義だと思った内容

有意義だと思った内容としては、満足度の高かった多目的航空公園の視察や企業見学（ISTの工場、射点）のほか、意見交換会、SORAの見学・説明、参加企業による会社紹介を挙げる人が多かった。



#### 【その他の内容】

懇親会での自由な会話が有意義でした。

図 3-16 今回の視察メニューのうち、有意義だと思った内容

### ②-2 今回の視察メニュー以外で、見学・体験したかったこと

サプライチェーンの実態、町の歴史、地元民や企業との意見交換、航空公園の滑走路の活用プランなどが挙げられた。

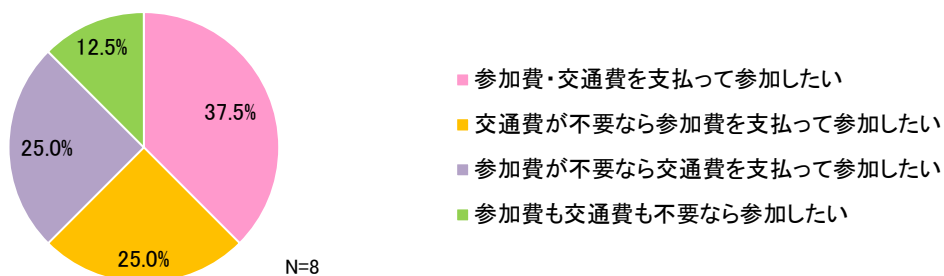
表 3-16 今回の視察メニュー以外で、見学・体験したかったこと

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IST も含む企業のサプライチェーン（部材調達→設計→加工～出荷）の全体図（利便性を知りたい）</li> <li>・ 町の歴史的な事項</li> <li>・ 航空宇宙に限らず町や町の企業、働いてる人の困りごとや課題に関するディスカッションがあると良かったと思います</li> <li>・ 地元民、漁業者の方々の生の声のインタビューなどVTRであると良いかと。→我々としては、地元がプロジェクトを応援しているかどうか（行政主導で先走っていないか）も重要なPointと考えております。</li> <li>・ 充分確認できた。</li> <li>・ 宇宙以外で町の良さを体感できた。（牧場の見学等）</li> <li>・ 大樹町が航空公園（特に滑走路）をどのように活用していきたいかをお聞きしたかった。（1,000mの滑走路の活用プラン）</li> </ul>
--

### ③ 視察ツアーへの参加意向

視察ツアーについて、「参加費・交通費を支払って参加したい」が37.5%、「交通費または参加費を支払って参加したい」がそれぞれ25.0%、「参加費も交通費も不要なら参加したい」が12.5%であった。視察ツアーの場合、参加費や交通費で何らかの補助があると参加を促しやすいと考えられる。

支払ってもいい額は、5万円（2泊3日）、5千円（参加費）、と参加者によって差がみられた。



【参加費として支払ってもいい額】

5000円、10000円、20000円、30000円、50000円(2泊3日)

図 3-17 視察ツアーへの参加意向

### ④ 視察ツアーへの参加方法

視察ツアーの参加については、「複数企業での視察」が75.0%、「どちらでもよい」が25.0%という回答となった。

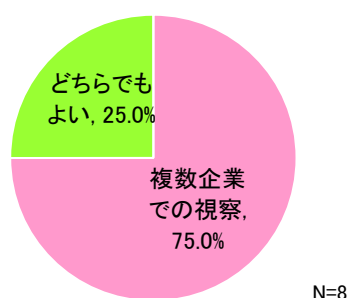


図 3-18 視察ツアーへの参加方法

## ⑤ 大樹町のイメージについて

### ⑤-1 モニターツアー参加前の大樹町のイメージ

モニターツアー前の大樹町のイメージは、酪農・農業や宇宙についてのイメージがあるという声の他に、特にイメージがないという声もあった。

表 3-17 モニターツアー参加前の大樹町のイメージ

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 整備されて美しい街です。（事前の WEB 調査による）</li><li>・ 酪農、農業</li><li>・ 漠然と農業主体の産業と思っていました。</li><li>・ あまりイメージがなかった。</li><li>・ 滑走路がある以外の印象はなかった。</li><li>・ 忠類や広尾とかには来たことがあるが、大樹町には来たことがなかった。</li><li>・ 宇宙への取り組みは最近のことだと思っていました。初日のご説明で昭和 59 年からの取り組みだと聞いてびっくりしました。</li><li>・ 航空公園を有する町、IST、CAMUI ロケットが打ち上げを行う町。</li></ul> |
|--|



⑤-2 モニターツアー参加後に大樹町のイメージが変わった、理解が深まった点

イメージが変わった点は、町全体の宇宙への取り組みや可能性、環境・交通アクセスの良さを感じられたとの意見があった。宇宙開発を通じて町の方々の人間性に対しても理解が深まったとの声もあがった。

表 3-18 モニターツアー参加後に大樹町のイメージが変わった、理解が深まった点

<p>大樹町のイメージが変わった点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前調査の通り、整備されて美しい街でした。</li> <li>・ 宇宙への取り組み、意識の高さ</li> <li>・ ロケットの打上げに漁協の方々が協力してもらえる点（種子島では大変苦労しているのだ）</li> <li>・ ALFLEX の時代から、かなり設備（インフラ）が整備されていたようで、スペースポート化するにはかなり先行していると感じた。</li> <li>・ 町の方々の積極的な姿勢、環境の良さ、交通アクセスの良さを知れた。航空公園も想像よりキレイでした。</li> <li>・ 役場の部署の室長の航空宇宙の造詣の深さに感銘を受けた。</li> <li>・ 宇宙開発に適した土地であること。意外に「近い」と感じた所。</li> <li>・ 1,000mの滑走路の可能性、IST の可能性、大樹町への愛着</li> </ul>
<p>大樹町について理解が深まった点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町関係者のねばりづよさ！宇宙への関わりへのプライドを感じました。</li> <li>・ 酪農の高度化、宇宙開発と関わり。</li> <li>・ 東京からのアクセスが良い。ネット環境が近々改善される。</li> <li>・ スペースポートができ、インターステラさんや我々が、宇宙への長期運行を行う事が出来れば、かなりの人が集まり、地域活性に役立つイメージがわきました。</li> <li>・ インフラの状況など。</li> <li>・ メムメドウズの山田さんが、「冬が良い」と話されたことが印象的。冬は暗くて寒いイメージがあったが、むしろその季節の方が魅力があるのか。人々が皆、親切で温かい。街の人が全員必ず挨拶する。役場の方々が本当に真面目で熱意があり、すごく印象的。</li> <li>・ 町の地理、町の人々の人間性、大樹町役場の方々の人間性、IST の取り組み方と町からの期待。</li> </ul>

### ⑥ 今後の来訪意向について

大樹町への来訪・進出意向は、「今後、来訪・進出を検討したい」が62.5%、「わからない」が25%、「来訪・進出したいと思わない」が12.5%であった。

宇宙開発に対するビジネス発展を期待する声もあり、モニター企画の継続の要望も複数あった。また、「来訪・進出したいと思わない」という企業も、進出はできないがサテライトオフィスがあつたら活用したいという回答であり、大樹町との今後の関係性継続に前向きな回答が多い。

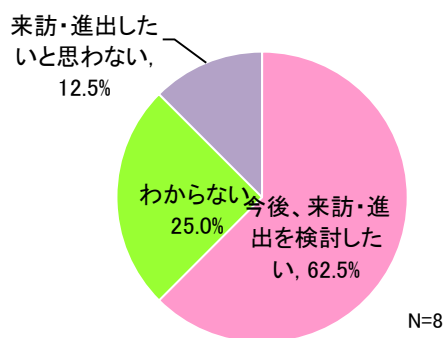


図 3-19 大樹町への来訪・進出意向

表 3-19 大樹町への来訪・進出意向

<p>理由（来訪意欲）</p>	<p>&lt;今後、来訪・進出を検討したい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IST の MOM03 の結果による。</li> <li>・ 航空機関連の試作、実験</li> <li>・ 1000m級の滑走路、JAXA 管制棟の存在は、かなり大きなメリットを感じます。</li> <li>・ 当社のロケット実験機の射場候補地として、具体的な相談を今後したい。</li> <li>・ 下記の強みで大樹町を応援したいと思いました。 →宇宙開発技術者の派遣・データセンター・ドローン活用</li> </ul> <p>&lt;わからない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇宙ベンチャーとの共同としての進出は可能性あり。大型射点が出来れば単独もある。但し、国からの支援が必要になると考える。</li> <li>・ 屋外での実験が制約なくできる環境には魅力を感じるが、現事点、実験アイテムがないので。</li> </ul> <p>&lt;来訪・進出したいと思わない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業種が商社であり、全国各地を飛び回るため、事務所を構えて営業活動をするには考えていない。一方で出張時は使用できる貸しオフィス（サテライトオフィス）の様なものは出張時は活用したい。</li> </ul>
<p>来訪・進出の目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IST とのビジネスマッチングのため。</li> <li>・ 航空機関連の試作、実験</li> <li>・ スペースプレーンの打上試験、商用打上</li> <li>・ ロケット射場として、定期便の運航が可能であれば、支店、支社、工場の建設などの目的で進出したい。</li> <li>・ 宇宙関連の方々との有機的なつながり。大樹町の取り組みを理解した上で、第三者と共に新たな宇宙関連の取り組みを模索するため。</li> <li>・ 下記の強みで大樹町を応援したいと思いました。 →宇宙開発技術者の派遣・データセンター・ドローン活用</li> </ul>
<p>大樹町への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回目のモニターを企画して下さい。（参加メンバーが替れば、第 2 回参加企業の次回参加も OK とする等）</li> <li>・ 打上試験段階で、2 km×2 kmの保安エリアの確保が可能か？+射点の場所の相談。LOX メタンの確保が可能か？商用化になるまでの設備構想・スケジュールの共有。</li> <li>・ 滑走路の利用可能性、L2 射場のスケジュールなど、定期的な意見交換を行っていききたい。また、メタン（燃料）の調達についても相談したい。</li> <li>・ 町がコンパクトでいいが、もう少し、宿泊施設が増えた方がよい。</li> <li>・ 大変貴重な機会でした。今後とも是非継続していただきたいです。来年も実施されるようであれば、別の社員を参加させたいです。</li> <li>・ 今後、必要により連絡をさせていただきます。</li> </ul>

## ⑦ サテライトオフィスなどの環境整備について

### ⑦-1 サテライトオフィス等の施設に必要なだと思う機能

サテライトオフィス等の施設に必要なと思う機能としては、オフィススペースのほか、インターネット回線、会議室、複合機等、コワーキングスペース、プロジェクター、スクリーン、予約システムという回答が多かった。

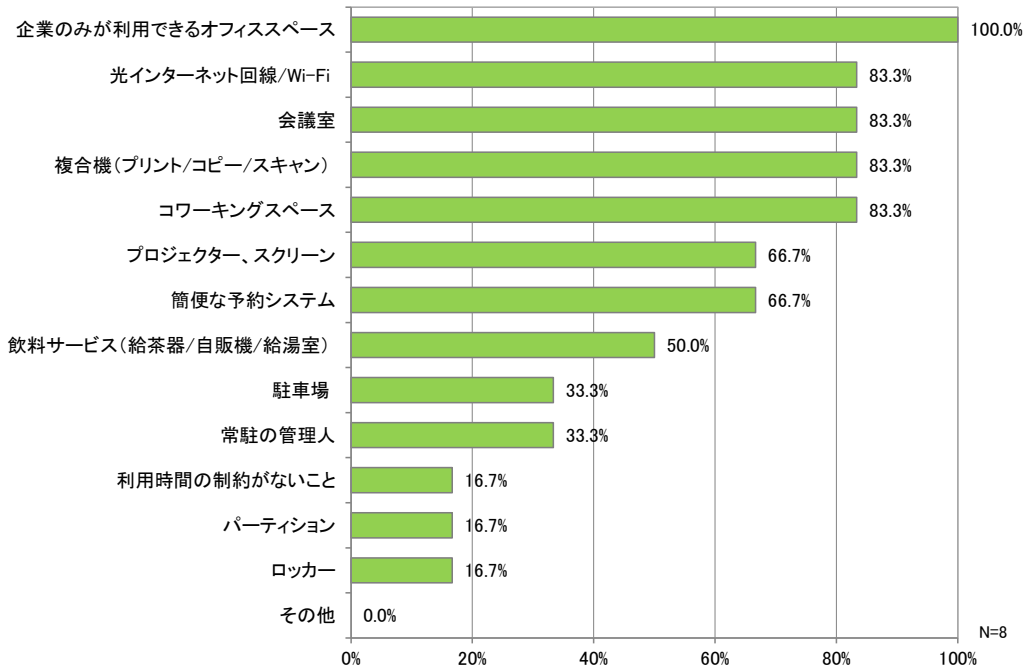


図 3-20 サテライトオフィス等の施設に必要なだと思う機能

#### 【その他記述】

- ・ セキュリティが重要です。(顧客情報、IT系)
- ・ ランチのサービスがあれば、共同の為の交流が深まると考える。
- ・ 出前サービスがあると助かります
- ・ Times などのカーシェアサービスについては、空港⇄町間の移動手段として欲しい所です。ちょっとした移動は、「レンタサイクル」のようなものがあるのも良いかもしれません。
- ・ ネットインフラの良い場所
- ・ メムメドウズは、設備としてもよい。(ネットワークがこれからであるが)
- ・ いきなりたいそうな施設を作るよりも、スモールスタートで、最低限の設備で小さく始めた方が良いでしょう。地方からの出張者よりも、地元の方に使ってもらえる工夫を考えた方が良いでしょう。1は地元の企業のみを対象にしても良いでしょう。地方から来る人は、声もれない会議室があれば良いでしょう。車を使わない人がいると思うのでホテルに近い方が良いでしょう。
- ・ オープンスペースでのコンセント、LAN プラグの設置。オープンスペースでのコーヒー、軽食の販売。TKP 貸会議室ネットとのコラボが良いのでは？

⑦-2 大樹町でサテライトオフィス等の施設があると便利な場所

大樹町でサテライトオフィス等の施設があると便利な場所を聞いたところ、「大樹町のまちなか」が62.5%、「実験施設の周辺」が37.5%で、「自然豊かで景色のいい郊外」とする回答はなかった。

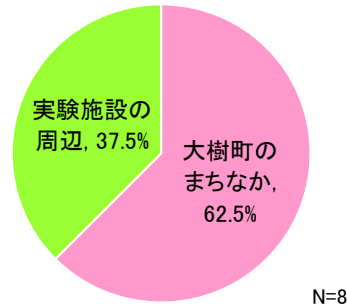


図 3-21 大樹町でサテライトオフィス等の施設があると便利な場所

⑦-3 実験や営業等で大樹町に滞在する際のサテライトオフィス等の利用意向

実験や営業等で大樹町に滞在する際のサテライトオフィス等の利用意向については、「町が用意した施設を利用したい」が75.0%、「条件付きで利用したい」が25.0%で、「会社で独自に設置して利用したい」や「必要ない」とする回答はなかった。

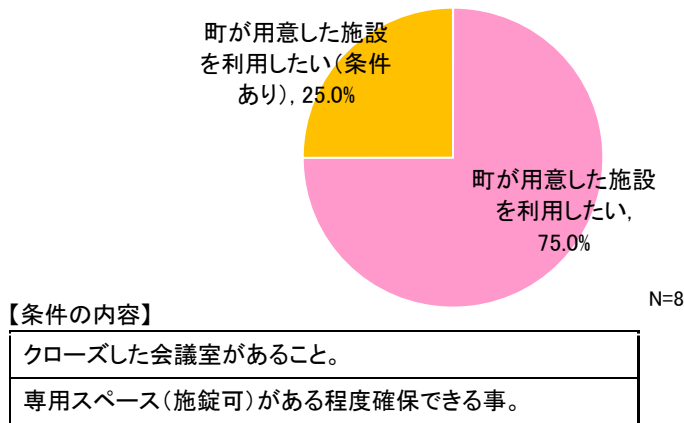


図 3-22 実験や営業等で大樹町に滞在する際のサテライトオフィス等の利用意向

### 3-3-4 意見交換

意見交換には、モニター企業のほか、IST、大樹町が参加して、ISTの視察内容の質疑応答と、今後の進出に向けた課題・方向性、サテライトオフィスといった企業進出に向けた環境整備などについてフリーディスカッションを行った。

表 3-20 意見交換の概要

分類	意見
ISTに関する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サウンディングロケット MOMO や、軌道投入ロケット ZERO などロケット開発に関する技術について</li> <li>・ ISTの開発体制について</li> <li>・ クラウドファンディングなどの海外展開について</li> </ul>
インターネット環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町では、街中であれば光ファイバーを利用でき問題ないが、光ファイバーが来ていない実験施設周辺ではADSLのため、データ処理の障壁となっている</li> <li>・ 今後まちなかの無線LANと繋ぐ予定</li> </ul>
宇宙関連企業の進出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISTに部品や材料を提供する企業が、大樹町に出張所や支所をつくるなど、オール北海道での開発できる体制の整備</li> <li>・ 閉校した校舎や、工業団地の用地の活用など、実験場に近い環境での企業進出の可能性</li> <li>・ ソフトウェアのニーズはあるが、帯広だと直接宇宙関係をやっている会社はないため、サテライトを大樹町に設けて連携する体制がとれるとよい</li> </ul>
サテライトオフィスなどの環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カラオケボックスをテレビ会議などで利用したり、ホテルの部屋もレンタル会議室として時間貸ししている所がある</li> <li>・ カーシェアリングで、実際車として使うのではなく、密閉された空間として作業をしたことがある</li> <li>・ 電話の会話も聞かれない様に、上が空いたスペースではなくて、上まで封鎖された環境が望ましい</li> <li>・ リラックスして仕事周辺の話もできるような場と、クローズの仕事もできる場所もあり、上手く組み合わせることができるのがサテライトオフィスの魅力 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フリーアドレスの場所ではイベントもできるような動かしやすい配置にする</li> <li>➢ オープンエリアでは、パソコンを充電しながらコーヒー飲んで食事したりする場があれば、交流の場にもなり有意義</li> <li>➢ クローズの所は10人ぐらい入れる会議室があるとよい</li> <li>➢ クローズエリアでも机が2~3個あって、FAX、コピー等のプリンターが置ける場所があれば便利</li> </ul> </li> <li>・ 廃校の校舎は、現在避難所として活用しているが、短期の教室の貸し出しは可能で、2階を専有して使ってもらってもいいが、補助金が入ってる関係上、看板を掲げて事務所として使うのは難しい</li> <li>・ ISTとペイロードの会社など、複数社と一緒に廃校などを活用して社屋利用するという事も考えられる</li> <li>・ 道の駅のように、食事の提供ができ、かつオープンな空間で雑談と食事ができるのがよい</li> </ul>
移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港からの移動はレンタカーが主流で、タクシーを利用する人もいる。バス移動は時間がかかるため現実的ではない</li> <li>・ レンタカーを借りるなら問題ないが、借りないとなると、場所的にホテルや道の駅の近くのほうがよい</li> <li>・ 車の運転をしない社員も増えており、レンタカー以外の移動手段があったほうがよい</li> <li>・ デマンドバスやコミュニティバスなど、航空公園・芽武とまちなかをつなぐ公共交通があると便利である</li> </ul>

### 3-3-5 視察ニーズ調査のまとめ

昨年度のモニター調査結果を踏まえて見直した案を基に、ツアー内容及びスケジュールを検討し、実証試験を行った結果、満足度について、すべての項目で昨年度よりも高い結果となった。特に、参加企業による会社紹介を1日目の説明会に設定した点、視察全体を通しての質疑応答の時間や意見交換の時間を設けたことによる効果が大きかったと考える。

このような視察ツアーについて、継続の要望も複数あり、大樹町をPRし、理解が深まるとともに、新たな企業との連携可能性が生まれる重要な機会となっていることから、今後大樹町において継続して実施していくことが望ましい。

ツアーの実施に当たっては、次の点に留意することが重要である。

#### <視察モニターツアーの留意点>

- ・最終日は選択制にするなど、1泊2日で参加可能なプランを用意すること
- ・質疑応答の時間を十分に設けること
- ・意見交換では、「町が実現したいこと」をテーマに企業から積極的な意見をもらうこと

また、ツアー参加者から得られた意見から、今後PRしていくべきポイントを整理する。

#### <PRポイントの整理>

- ・東京～帯広間のアクセスの良さ
- ・大樹町の宇宙のまちづくりの取組み（これまでの歩み、今後の展望など）
- ・地元がプロジェクトを応援していること（漁業者などの協力など）
- ・ISTの取組み（視察、職員による案内、事業実態や今後の展望など）

## 第4章 プロモーションに関する検討

### 4-1 プロモーション企画概要

大樹町でのモニター実証実験結果を元に、主に都心で活動する大手企業を中心に、大樹町およびテレワーク受け入れ施設のプロモーションを行った。実施概要を次に示す。

表 4-1 プロモーション企画概要

項目	内容
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部（主に首都圏）に拠点を構える企業を対象に、大樹町におけるテレワーク拠点の利活用を促進するためのプロモーションを行い、大樹町の認知度向上と態度変容につなげることを目的とする。</li> </ul>
ゴールの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>大樹町の概要および大樹町で実施したモニター実証実験の結果を参加企業にPRし、大樹町への興味喚起を図ると同時に、テレワーク導入に向けた課題を議論する。</li> </ul>
実施イベント	<p>①大手企業人事担当者向けイベント</p> <p>NTTデータ（平成29年度モニター実証実験参加企業）の協力の元、社外人事関係者で形成する研究会ネットワークで一同に会し、勉強会形式で開催する。</p> <p>②一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり協議会（エコツェリア）共催イベント</p> <p>エコツェリア協会の個人会員（大手企業社員や中小企業、フリーランスなど）向けイベントである「さんさんネットワーキング」において、大樹町でのテレワークの取り組みの結果を報告しながら意見交換を行う。</p>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大樹町の概要およびモニター実証実験結果を報告する。</li> <li>大樹町の認知度を向上を図るとともに、大樹町のテレワーク受け入れ施設などをPRする。</li> <li>企業におけるテレワークの導入の可否や障壁などを広く論議し、テレワーク導入に向けた課題を明確にする。</li> </ul>
実施日程	<p>①平成30年11月21日</p> <p>②平成30年11月22日</p>
場所	3×3 Lab Future（東京 大手町）



## 4-2 プロモーション実施結果

### 4-2-1 大手企業人事担当者向けイベント

#### (1) 開催概要

大手企業計8社が参加し、大樹町の概要およびモニター実証実験の実施結果を報告するとともに、各社におけるテレワークの導入の状況や今後の導入の方向性について意見交換を行った。

表 4-2 大手企業人事担当者向けイベント参加者属性

企業	担当部門
大手鉄道会社	人事部
大手損害保険	人事部
大手通信/ICT	人事部
大手首都圏私鉄鉄道グループ	人事部
大手私鉄鉄道系リゾート運営	企画
大手通信キャリア	人事部
首都圏ケーブルテレビ	人事部
株式会社NTTデータ	人事統括部

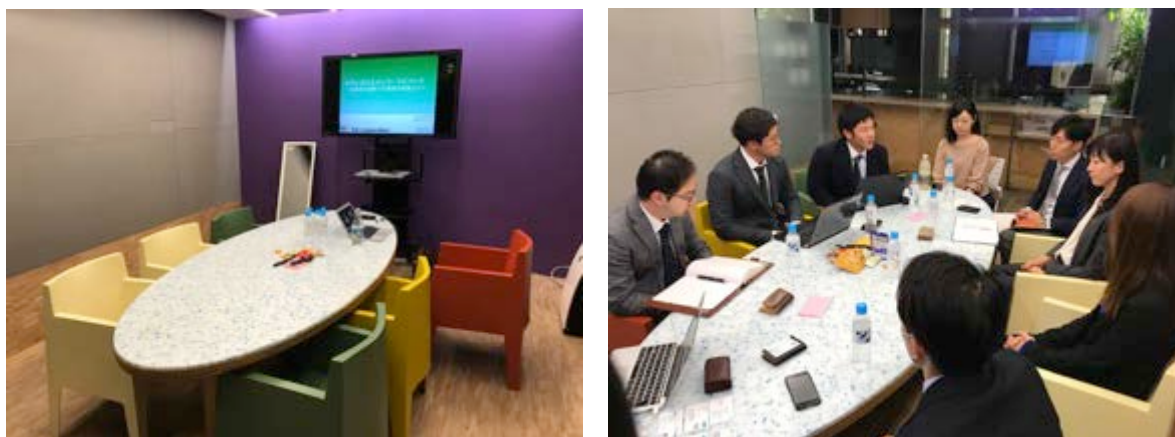


図 4-1 大手企業人事担当者向けイベントの様子

## (2) 開催結果

大手企業人事担当者向けイベントで挙げられたテレワーク導入に関する意見は次の通りである。

表 4-3 大手企業人事担当者向けイベントでの意見

分類	意見
テレワーク導入に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・社内で導入している、インセンティブプログラムと連携することがあり得る。</li><li>・「リゾートテレワーク」や、ワークとバケーションを組み合わせた「ワーケーション」としてブランディングする方向性もあり得る。</li><li>・旅費の一部を自治体が補助するなどの財政支援策があり得る。</li></ul>
テレワーク導入に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・地方でテレワークを導入するには、それなりの理由付けが必要（社内外教育・研修コンテンツとして活用するなど）。</li><li>・テレワークがもたらす社員への利益・価値をブラッシュアップすることが必要。</li><li>・地域の特色を際立たせて、テレワークによる利益・価値を明確にすることが求められる。</li><li>・テレワークによって生産性が向上するというロジックを確立することが重要。</li></ul>
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回の勉強会において、改めて各社の働き方改革の取り組みとテレワークに対する認識を確認し、共有できたことが大きな収穫である。</li><li>・今後のテレワークの取り組みについて、参加企業間で意見交換しながら進めていきたい。</li></ul>

## 4-2-2 エコツェリア共催イベント

### (1) 開催概要

エコツェリアの定例イベントである「さんさんネットワーキング」において、テレワークを主題にした企画を立ち上げ、大樹町におけるテレワークの取り組みを紹介した上で、導入促進に向けた意見交換を行った。

開催概要は、下図・次ページの表に示す通りである。なお、大樹町の取り組みについては、モニターの実験実証結果を報告するとともに、平成29年度の実証実験に参加した株式会社NTTデータ人事統括部も同席し、参加者としての感想や、現在の社内の活動および今後の取り組みの方向性などについても併せて紹介された。

なお、3×3 Lab Future 側の意向により、和歌山県東京事務所の日根氏により、和歌山県東京事務所で取り組んでいる「ワーケーション（ワークとバケーションを合わせた取り組みの意）」も報告された。



図 4-2 募集案内ページ

表 4-4 開催概要

項目	内容
開催日時	2018年11月22日(木) 18:30～21:00
場所	3×3Lab Future コミュニケーションゾーン (東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階)
参加費	2,000円
タイムスケジュール	18:30～ 交流タイム 19:00～ 北海道大樹町でのテレワークのニーズ調査と実証実験から ・株式会社K A I : 北海道大樹町での実証実験結果の紹介をしながら課題提起 ・竹村氏(株式会社N T Tデータ人事統括) : 北海道大樹町での実証実験参加体験をシェア ・日根氏(和歌山県東京事務所) : 他地域の事例から～和歌山でのワーケーションの取り組みのご紹介～ 19:30～ オープンディスカッション 19:45～ 交流タイム 21:00 終了
募集ページ	<a href="https://www.facebook.com/events/195646521337327/">https://www.facebook.com/events/195646521337327/</a>
参加者	3×3 Lab Future 個人会員15名 三菱地所職員 株式会社NTT データ 人事統括部



図 4-3 エコツェリア共催イベントの様子

## (2) 開催結果

エコツェリア共催イベントの参加者と議論した結果、全般的にテレワークに関する関心が高いものの、参加者からテレワークによる利益や価値に対する質問が寄せられた。そのため、テレワーク導入企業や利用者に対する、テレワークの利益・価値を明確にしていく必要があると考えられる。

また、和歌山県東京事務所より「株式会社セールスフォース・ドットコム」のテレワーク導入事例の紹介があり、東京拠点と比べて、テレワークを導入した和歌山拠点の方が生産性が向上する傾向にあり、今後も引き続き検証を行うとの報告があった。

今後は、このようにテレワークの導入に向けて試行を重ねながら、データなどによる客観的な検証を行い、テレワーク導入促進を図る必要がある。

表 4-5 大手企業人事担当者向けイベントでの意見概要

分類	意見
テレワークの導入のメリットについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・テレワーク導入による、それぞれの関係者（企業、テレワーク利用者、地域）の利益・価値はどのようなものか？</li><li>・平成 29 年度の大樹町のモニター実証実験において、親子での参加者がいたが、子供の心境に大きな変化があり、それを見ていた親が感化されていた。そのような状況から、特に親子で地方テレワークを利用するところに、大きな導入機会があるのではないか。</li><li>・株式会社セールスフォースドットコムと共同事業を行い、テレワークの一環として、東京都と和歌山県に拠点をおいてもらい、それぞれの拠点での生産性を比較検証しているが、和歌山拠点の方が生産性が高いという結果が出ている。今後も地方のテレワークの生産性について検証していきたい。</li></ul>
テレワークの導入の方策について	<ul style="list-style-type: none"><li>・フリーランスがテレワークを利用するという導入機会もあるが、そのためには、その地域に赴く必然性や強い興味喚起が必要。ただし、フリーランスは企業勤めと比べると数が少ないため、やはり都心大手企業に対していかに導入を促進するかが鍵になると思われる。</li><li>・東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年をテレワーク導入のターゲットとすることについて、その通りであると思う。今から活動するにあたっては協力したい。</li></ul>

#### 4-2-1 今後のプロモーションに向けて

「大手企業人事担当者向けイベント」「エコツェリア共催イベント」の2つのイベントを通じて、依然として地方でのテレワーク導入には、いくつかのハードルが存在することが改めて確認されたものの、一部企業では今年から、ホワイトカラー全社員のリモートワーク利用を促進しており、地方でのテレワーク導入にも検討の余地があることがわかった。

今後のプロモーションに向けては、3つのポイントがあると考えられる。

1つ目のポイントは、「有給休暇取得促進策」や「インセンティブプログラム」などの大手企業の福利厚生と組み合わせることにより、利用促進につなげることである。

2つ目のポイントは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの時期に向けて、プロモーションを積極的に展開していくことである。東京オリンピック・パラリンピックに向けては、総務省のテレワーク導入促進の気概は非常に強いと考えられ、今後地方のテレワーク導入のニーズや動きが顕在化すると思われる。今後は、東京オリンピック・パラリンピックの時期に向けたプロモーションを積極的に展開していくことがポイントとなる。

3つ目のポイントは、「大樹町に行く必然性」を磨くことである。そのためには、これまで検討を重ねた、大樹町にしかないもの（メムメドウズ、宇宙のまちづくり、大自然、大規模酪農など）を活用したテレワークプランについて、既来訪企業等を中心に継続したテレワーク体験を進めるとともに、地方間での連携や、積み重ねによる効果検証なども含めて検討が必要である。

なお、本年度テレワーク実証実験を行った結果、大樹町の活動（テレワーク含む）についての認知度ならびにリテラシー向上に一定の効果があったと思われる。また、昨年度テレワーク実証実験を通じて大樹町に来訪した方々のうち、数名はすでに再来訪済みもしくは再来訪を検討をしており、さらにふるさと納税で支援するなどの行動変容を示している。このことから、テレワークを通じた大樹町の認知度向上がテレワーカーの行動変容を促していく可能性があると考えられる。

については、平成29年度のテレワーク実証実験においても提案した、「東京都内での営業拠点」を設け、イベントやロビー活動などを展開し、テレワークの普及を促進することが望ましいといえる。

なお、今回エコツェリア共催イベントで登壇された「和歌山県東京事務所」は、「ワーケーション（ワークとバケーションを合わせた取り組みの意）」、「リゾートテレワーク」の事例として参考になる。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/tokyo/index.html>

大樹町においても、これまで検討してきたテレワークプランを「ワーケーション」として首都圏企業にプロモーションすることが考えられる。

## 第5章 Customer Relationship Management (CRM) 実施に関する検討

### 5-1 訪問者のロイヤルティ構築のイメージ

来訪者のロイヤルティ（ファン）を増やし、再度訪問してもらうためには、大樹町来訪者の訪問時に大樹町関係者との接点を適切に構築して関係づくりをするとともに、一度訪問した方を対象に継続的にコミュニケーションを行うことが必要となる。

大樹町に一度来訪した方のリピートを継続的に構築するためのイメージを以下に示す。

ポイントは、来訪者にいろいろな体験や関係づくりを推進することによって、再訪意向を醸成し、次回来訪につなげるためのサイクルを回す点である。

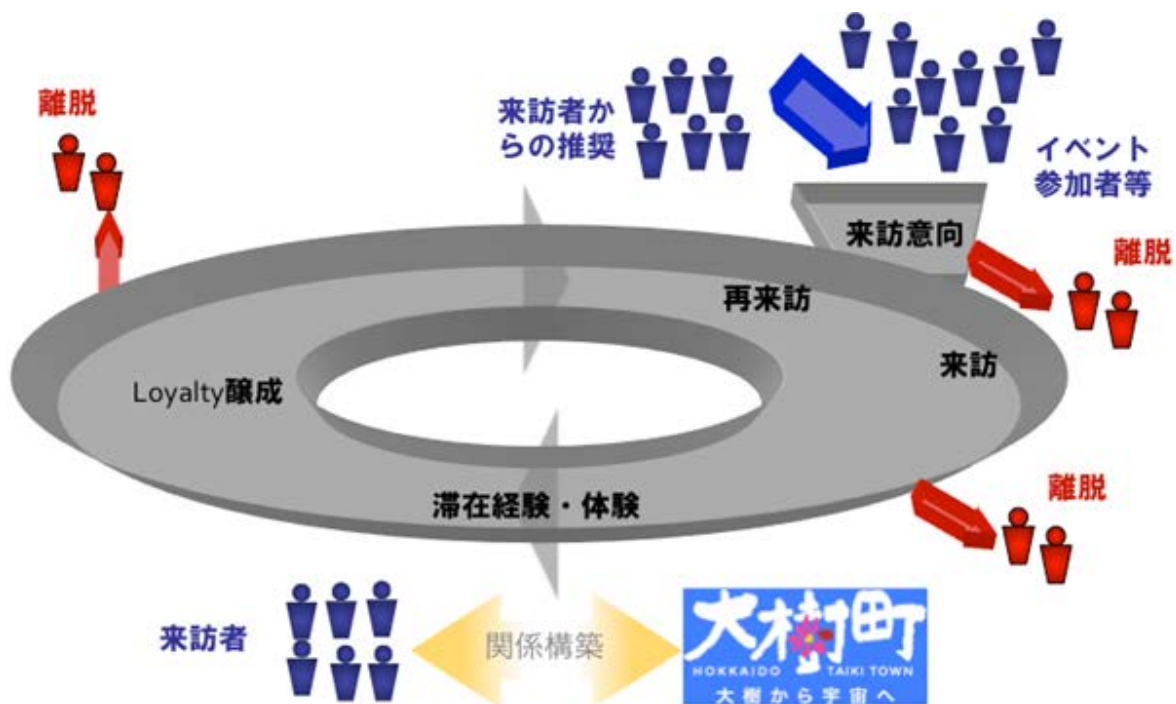


図 5-1 ロイヤルティサイクルイメージ

## 5-2 Customer Relationship Management (CRM) 導入による関係構築

Customer Relationship Management (CRM)の導入による、ロイヤルティ構築に向けたロジックイメージを次に示す。

来訪者の経験や体験、地元の方々との関係づくりを行い、それを適切にマネジメントすることが必須となるため、そのマネジメントを円滑にし、コミュニケーションを活発にするためのシステムを導入することが望ましい。

ポイントは、「継続性」であり、持続可能な仕組みを構築することが必要である。懇親会などは、ある程度まとまった団体に対しては対応可能であるが、随時となると受入側の負担が非常に大きくなってしまう。

自然に、地元の人と来訪者の交流が持てるような拠点をつくること、そして地元の人がいつもそこにいるような環境をつくることが重要である。今後設置を検討するテレワーク拠点施設や、既存の地元の飲食店がその拠点となると考えられる。

地元の住民に対しては、地域外からの来訪者としてどんな層が来ており、今後町としてどういった呼び込みをしていくべきかなど、観光施策とも絡めながら共有・議論する場があるとよい。その際に、後述するCRMシステムについても提案を行い、「使ってもらえる」システムとすることが重要である。また、テレワーク拠点施設などについては、来訪者だけが利用するのではなく、地元の人が積極的に使うことが必要不可欠である。そのための方法については後述する。

来訪者に対しては、テレワーク拠点施設や飲食店などの情報を積極的に案内することが必要である。宿泊施設や地元店舗、道の駅での配布・案内が効果的であると考えられる。また、来訪者が気軽に入りやすい施設づくりにも留意する必要がある。



図 5-2 CRM ロジックイメージ



## 5-3 大樹町における CRM の運用

### 5-3-1 大樹町における CRM システム

CRM は一般的に企業とお客様とのコミュニケーションを管理するために構築するものであるが、大樹町の場合、各企業の規模が小さく、各社の企業努力では限界がある。

そのため、行政を含む企業間でネットワークを構築して顧客情報を共有して活用することが望ましい。なお、このような取り組みは地方自治体で導入している実績はない一方で、企業とお客様との CRM は一般的に行われていることから、地方自治体で導入することについては画期的であり、リピーターを増やしていくためには必須の仕組みである。

大樹町における CRM システムの導入・活用イメージを以下に示す。



図 5-3 大樹町における CRM システムのイメージ

システムを構築するにあたり、以下の要素を網羅することにより訪問者ロイヤルティ醸成効果の最大化を図ることが重要である。

- SNS連動を想定：Facebook, Instagramなど
- STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）が行えることが前提
- 統計的手法による傾向分析が可能なこと（クラスタリング、ニーズ分析など）
- 大樹町内の複数事業者との共有を想定
- 管理者によるレギュレーション（利用者による乱用を制限する）
- 管理・運用責任者は大樹町とする→民間委託を想定
- システム運用費は原則として受益者負担とする（大樹町および町内企業等）
- 大樹町滞在実績があるIT企業で構築を想定

本システムを導入することによる、利用者それぞれの活用シーンを以下に列挙する。これはあくまでも大樹町来訪実績がある方に対するコミュニケーションのみとなる。

①大樹町役場の利用例

- 大樹町イベントの告知と動員
- テレワーク実施実績の紹介
- 東京都内における交流イベントの案内
- 特産品の収穫・収穫情報など

②宿泊施設の利用例

- 利用促進キャンペーンの告知
- 他サービスとのコラボレーション
- 宿泊施設の動員など

③販売・サービス提供者の利用例

- 新商品、特産品の収穫・収穫情報などの告知
- 町内企業とのコラボ企画の告知など

### 5-3-2 CRM システムの要件

CRM システムの要件を次に示す。

表 5-1 CRM システム要件

項目	内容
目的	大樹町滞在者との関係構築により、大樹町へのリピートを促進し、ロイヤルティ構築を通じて定着させ関係・定着人口を増大させることを目的とする
CRM対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町訪問、滞在者（以下例） <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 旅行・宿泊者</li> <li>➤ お試し暮らし、ワークステイ住宅利用者</li> <li>➤ （将来的に）テレワーク利用者</li> <li>➤ 体験アクティビティサービスの利用者</li> </ul> </li> <li>・ 町外・道外の大樹町関連企業</li> </ul>
CRMシステム利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大樹町関係団体、企業等</li> <li>・ 大樹町役場(管理者)、関係機関</li> <li>・ 大樹町内企業</li> </ul>
CRMシステム要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ZOHO CRM の利用による構築を想定</li> <li>・ 複数事業者で共有することを前提とする</li> </ul>

#### ※想定コストの内訳

- ・ 企画・提案 : 120万円
- ・ 導入支援 : 70万円
- ・ 利用基本料 : 30万円/年～（2.5万円/月、入力・閲覧者5名を想定：人数で変動）
- ・ 運用 : 120万円/年～（10万円/月、現地サポート1名：規模により変動）
- ・ 追加開発 : 200万円（閲覧フィールド・テーブル作成等）

## 第6章 テレワーク拠点施設の整備に関する検討

### 6-1 テレワーク拠点施設に関するニーズの整理

#### 6-1-1 サテライトオフィス等の施設の設置場所

視察モニターツアー参加者アンケートでは、大樹町でサテライトオフィス等の施設があると便利な場所を聞いたところ、「大樹町のまちなか」が62.5%、「実験施設の周辺」が37.5%で、「自然豊かで景色のいい郊外」とする回答はなかった。

インターネット環境が整っており、食事・宿泊施設と近いまちなかの利便性が良いとされる一方、実験施設の周辺にある廃校やMEMドウズ（MEMアースホテル）などの活用可能性についても意見があった。

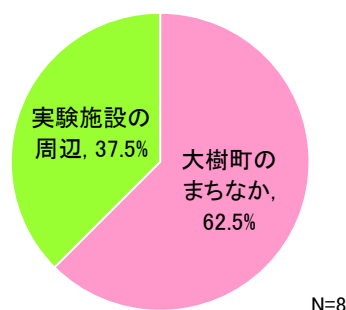


図 6-1 大樹町でサテライトオフィス等の施設があると便利な場所（再掲）

表 6-1 サテライトオフィス等の施設の設置場所に関する意見

分類	意見
設置場所	ネットインフラの良い場所。
	レンタカーを借りるなら問題ないが、借りないとなると、場所的にホテルや道の駅の近くのほうがよい。
	車を使わない人がいると思うのでホテルに近いほうが良いと思います。
大樹町既存施設の活用	廃校の校舎は、現在避難所として活用しているが、短期の教室の貸し出しは可能。
	複数社と一緒に廃校などを活用して社屋利用することも考えられる。
	道の駅のように、食事の提供ができ、かつオープンな空間で雑談と食事ができるのがよい。
	MEMドウズは、設備としてもよい。

## 6-1-2 サテライトオフィス等の施設に必要な機能

サテライトオフィス等の施設に必要な機能としては、オフィススペースのほか、インターネット回線、会議室、複合機等、コワーキングスペース、プロジェクター、スクリーン、予約システムという回答が多かった。

サテライトオフィスとしては、クローズ・オープン両方の環境を求める声が多く、使い分けができることが重要である。

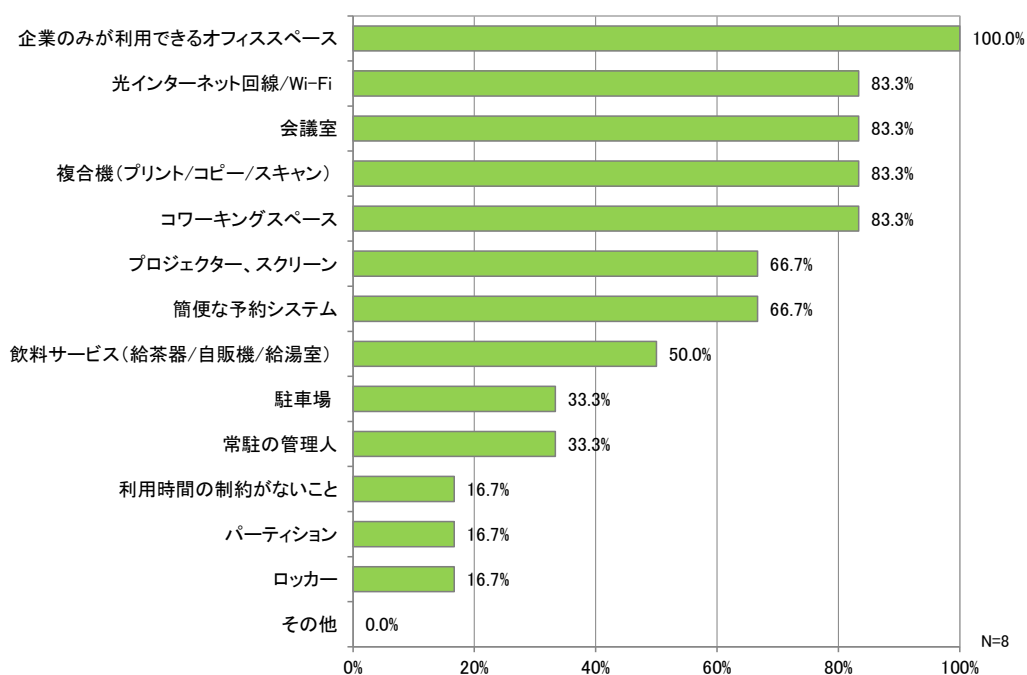


図 6-2 サテライトオフィス等の施設に必要な機能（再掲）

表 6-2 サテライトオフィス等の施設に必要な機能に関する意見

分類	意見
オフィススペース・会議室	セキュリティが重要です。(顧客情報、IT系)
	地方から来る人は、声がもれない会議室があれば良いと思います。
	クローズした会議室があること。
	専用スペース(施錠可)がある程度確保できる事。
	電話の会話も聞かれない様に、上が空いたスペースではなくて、上まで封鎖された環境が望ましい
	クローズの所は10人ぐらい入れる会議室があるとよい
	クローズエリアでも机が2~3個あって、FAX、コピー等のプリンターが置ける場所があれば便利
コワーキングスペース	オープンスペースでのコンセント、LANプラグの設置。
	リラックスして仕事周辺の話もできるような場も必要
	フリーアドレスの場所ではイベントもできるような動かしやすい配置にする
	オープンエリアでは、パソコンを充電しながらコーヒー飲んで食事したりする場があれば、交流の場にもなり有意義

### 6-1-3 サテライトオフィス等に付随するサービス

サテライトオフィス等の利用にあたって必要なサービスとして、食事の提供や、空港からのアクセスと大樹町内（まちなか・実験施設）の移動手段が挙げられた。

食事の提供については、町内飲食店との連携や、まちなかへの施設の設置、給湯コーナーや自動販売機の設置などが考えられる。

移動手段については、カーシェアリングやデマンドバスなどの新たなサービスの拡充が挙げられた。来訪者の移動は基本的にはレンタカーが主流となることが想定されるが、今後町内の公共交通整備にあわせて、外部からの来訪者の利用拡大についても、検討することが必要である。

表 6-3 サテライトオフィス等の施設に必要な機能に関する意見

分類	意見
食事サービス	オープンスペースでのコーヒー、軽食の販売。
	ランチのサービスがあれば、共同の為の交流が深まると考える。
	出前サービスがあると助かります。
移動	Times などのカーシェアサービスについては、空港⇄町の間移動手段として欲しい所です。
	ちょっとした移動は、「レンタサイクル」のようなものがあったとしても良いかもしれません。
	車の運転をしない社員も増えており、レンタカー以外の移動手段があったほうがよい
	デマンドバスやコミュニティバスなど、航空公園・芽武とまちなかをつなぐ公共交通があると便利である
その他	TKP 貸会議室ネットとのコラボが良いのでは？

## 6-2 テレワーク拠点施設の整備方針

### 6-2-1 テレワーク拠点施設の方向性

宇宙関連の企業や人材を活かした地域活性化や、都市部企業・人の移住・交流の促進に向けた、テレワーク拠点施設の基本方針を以下のとおり設定し、ビジネス展開拠点および話題性・魅力の発信拠点として位置付ける。

- 宇宙関連企業を中心に、道内外から企業が集まり交流するビジネス展開拠点の創出
- 大樹町ファンが集まる話題性・魅力の発信拠点の創出

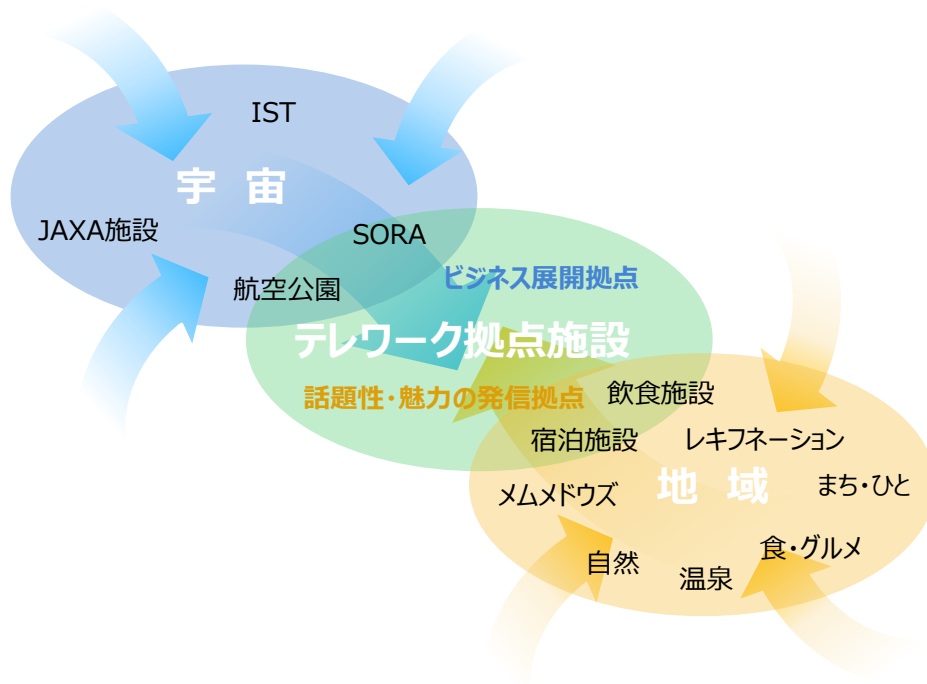


図 6-3 テレワーク拠点施設の位置づけ

## 6-2-2 導入機能の検討

基本となる導入機能は、「オフィス機能」「コワーキング機能」「アメニティ機能」「情報発信機能」の4つと設定する。

### <オフィス機能>

- ・防音性のある仕切られた専用できる空間
- ・1～2名用の小さいブースと会議室を兼ねた5～6人用の大きいブースなど

### <コワーキング機能>

- ・フリーアドレスの共有スペースとし、オープンな交流・会議で利用
- ・イベントなどで活用できるような空間
- ・プリンター等の複合機は共有で設置

### <アメニティ機能>

- ・トイレ・洗面
- ・簡単なキッチンスペース、もしくはカフェマシーン・自動販売機等の設置

### <情報発信機能>

- ・利用企業やイベント等の情報発信を行える空間（掲示板など）

## 6-2-3 施設整備の留意点

これまでの検討結果を踏まえて、以下の3つをテレワーク拠点施設整備の留意点とする。

### <留意点1>

- ・オフィス利用の場（クローズ）と、企業の交流の場（オープン）を共存させる

### <留意点2>

- ・既存施設のリノベーションで初期投資を縮減し段階的な施設整備を行う

### <留意点3>

- ・地元の飲食・宿泊施設等との連携で施設機能を絞る



## 6-2-4 施設整備エリアの検討

活用可能性のある既存施設について、エリア別（大樹町のまちなか、実験施設周辺、郊外）に候補をあげ、それぞれの特性を整理する。

表 6-4 活用を検討する既存施設

エリア	まちなか		実験施設周辺	郊外
活用可能な施設	道の駅 	旧駅舎 	SORA 	旧歴舟小学校 

### (1) 道の駅コスモール大樹

2002年に開業し、道の駅として認定された施設で、ここを中心に、周辺の道路、空き地や公園などのバリアフリー化やテナントミックスによる商業の活性化を図り、魅力的な拠点づくりを目指している。

表 6-5 施設の概要（道の駅コスモール大樹）

場所	大樹町西本通98番地（国道236号沿い）
アクセス	十勝バス停留所あり、帯広駅から往路・復路それぞれ14便運行 道の駅コスモール大樹まで約0km 帯広駅まで約57km 多目的航空公園まで約18km
建設年	2002年
構造	鉄筋コンクリート造、3階建て
施設面積	経済センター 1,581㎡、ショッピングセンター 2,942㎡
活用想定エリア	ショッピングモール側のゲームセンターのあるエリア、展望ロビー
駐車場	172台（大型 4台、身障者向け6台、普通車162台）
施設内機能	<p>【経済センター】</p> <p>1階 特産品・情報コーナー、コミュニティー広場、手づくり農産加工室、談話コーナー、公衆トイレ</p> <p>2階 多目的ホール、展望ロビー</p> <p>3階 大樹町商工会事務所</p> <p>【ショッピングセンター コスモール】</p> <p>総合食料品、靴・バッグ、くすり・化粧品・DPE、衣料品・100円ショップ、ドコモショップ、ファーストフード、ゲームセンター、auショップ・旅行、クリーニング取次ぎ・宅配便取次・コピーサービス・チケット取扱い</p> <p>※営業時間：9時30分～19時30分 ※定休日：元旦のみ</p>

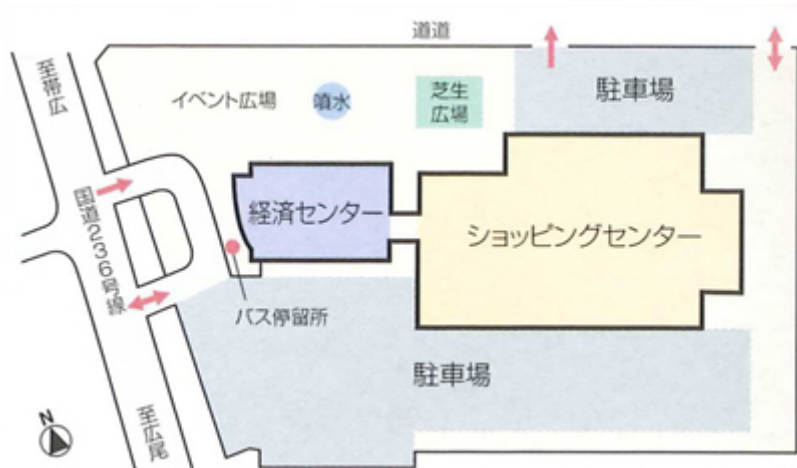


図 6-4 テレワーク拠点施設の位置づけ

(出典) 大樹町商工会ホームページ



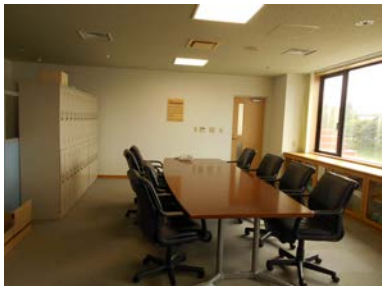
外観



ゲームセンター



倉庫



商工会事務室



多目的ホール



展望ロビー

図 6-5 道の駅の外観・内観

## (2) 旧駅舎

昭和62年に廃駅となった施設で、大樹交通公園として整備され、現在は北海道衛星株式会社が一部を利用している。

表 6-6 施設の概要（旧駅舎）

場所	広尾郡大樹町寿通1丁目11-1
アクセス	道の駅コスモール大樹まで約300m 帯広駅まで約57km 多目的航空公園まで約18km
建設年	1966年
構造	鉄骨造、平屋建て
施設面積	163.3㎡
活用想定エリア	施設全体
駐車場	なし（駐車スペースあり）
施設内機能	トイレ、待合室、事務室、休養室



外観



旧線路



上屋



待合室



事務室



休養室

図 6-6 旧駅舎の外観・内観

### (3) 大樹町宇宙交流センターSORA

2014年にオープンした施設で、大樹町の航空宇宙への取組みや町で行われた数々の実験をパネルや映像実機で紹介する展示施設となっている。

表 6-7 施設の概要（大樹町宇宙交流センターSORA）

場所	広尾郡大樹町字美成170-1の内
アクセス	道の駅コスモール大樹まで約16km 帯広駅まで約71km 多目的航空公園まで約0km
建設年	2014年（2017年増築）
構造	木造、平屋建て
施設面積	337.46㎡
活用想定エリア	敷地内に併設
駐車場	あり
施設内機能	トイレ、事務室、展示室、湯沸室、研修室、倉庫



外観



外観（増築部分）



展示室①



展示室②



研修室

図 6-7 大樹町宇宙交流センターSORAの外観・内観

#### (4) 旧歴舟小学校

1997年に建築された施設で、現在は歴舟地域コミュニティセンターとして、集会所や災害時避難所となっている。

表 6-8 施設の概要（旧歴舟小学校）

場所	広尾郡大樹町芽武183
アクセス	道の駅コスモール大樹まで約9km 帯広駅まで約66km 多目的航空公園まで約8km
建設年	1997年
構造	鉄筋コンクリート造、2階建て
施設面積	1177.3㎡（校舎）
活用想定エリア	校舎2階部分
駐車場	75台
施設内機能	避難スペース、洗濯室、シャワー室、トイレ、水飲み場、調理室、集会室



外観（校舎）



外観（屋内運動場側）



避難スペース※



集会室※



シャワー室※

図 6-8 大樹町宇宙交流センターSORAの外観・内観

※内観写真は旧尾田小学校

(5) 活用候補施設の比較

活用候補となる既存施設の条件を比較した結果を次に示す。

表 6-9 エリア別の既存施設の比較

エリア	まちなか		実験施設周辺	郊外
既存施設	道の駅	旧駅舎	SORA	旧歴舟小学校
建設年	2002年	1966年 (旧耐震基準)	2014年 (2017年増築)	1997年 (2014年改修)
公共交通でのアクセス	帯広駅からバスでアクセス可能	帯広駅からバスでアクセス可能	公共交通によるアクセスは難しい	公共交通によるアクセスは難しい
帯広駅までの距離	約57km	約57km	約71km	約66km
実験施設までの距離	約18km	約18km	0km	約9km
街なか(道の駅)までの距離	0km	約300m	約18km	約9km
施設整備条件	空間はあるがオフィス利用にはリノベーションが必要	施設が旧耐震で大掛かりな改修が必要	占有使用はできないため、新設が見込まれる	現状のままで使用可能であるが、占有使用不可のため短期的な利用のみ

### 6-2-5 施設整備のパターン

各エリアから活用候補を選定するとともに、整備レベルについても段階的なものとなるよう、施設整備モデルを3つ設定した。

#### ①旧歴舟小学校活用モデル

- ・ 校舎2階で使用可能な教室などを短期的に貸し出しする。
- ・ オフィス什器の設置等のみを想定する。

#### ②道の駅活用モデル

- ・ ゲームセンターの場所を使用する。
- ・ 個室&共同会議室等を整備するための壁など改修コストを見込む。

#### ③SORA併設モデル

- ・ 横に別棟でサテライト施設を整備する。
- ・ 新設コストを概算する。

## 6-2-6 必要諸室の設定

全国のコワーキングスペースの事例から、部屋・席タイプと備品を整理し、参考にしたうえで、必要諸室を次のとおり設定した。

### <部屋・席タイプ>

#### ①オープンエリア（自由に誰でも利用できるゾーン）

- ・コワーキングスペース：大テーブル席、ソファ席
- ・スタディスペース：壁面テーブル席
- ・キッチン ※新設のみ想定
- ・ロッカー

#### ②クローズドエリア（専用利用、施錠可能なゾーン）

- ・ブーススペース（小ブース）：小テーブル席（2～4人用）
- ・ミーティングスペース（大ブース）：テーブル席（8人用）

### <備品>

- ・プリンター
- ・ホワイトボード
- ・プロジェクター・スクリーン
- ・ポット
- ・電子レンジ
- ・冷蔵庫



表 6-10 コワーキングスペースの部屋・席タイプと備品

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
部屋タイプ	コワーキングスペース あさひかわ37	co-ba花巻 (メインスペース)	女川フューチャーセンター Camass	co-ba気山沼	SPACE KANTE	ドリノキ	co-ba渋谷 (メインスペース)
共有スペース	コワーキングスペース	(メインスペース)	コワーキングスペース	コワーキングスペース	ラウンジ	フレックスエリア	
個別ブース (小)	セミオープンワーク	-	-	-	スタディールーム	-	-
個別ブース (大)	プライベートオフィス	-	-	-	-	ブースエリア	-
会議室	-	ミーティングスペース	会議室×2	-	ミーティングルーム×11	ミーティングルーム×3	ミーティングスペース
キッチン	-	給湯室	ミニキッチン	キッチン (バーカクタンター)	-	-	キッチン
ロッカー	-	ロッカースペース	-	-	ロッカールーム	ロッカールーム	ロッカー
一般開放	-	-	-	-	-	ラウンジ	-
その他	フリースペース	-	多目的スペース×4	-	セミナースペース	-	(6Fは夜間・土日に イベントスペース利用)
	ゲームスペース	-	-	-	カフェ併設	-	
	ブレイクタイム	-	-	-	-	-	-
席タイプ	コワーキングスペース あさひかわ37	co-ba花巻	女川フューチャーセンター Camass	co-ba気山沼	SPACE KANTE	ドリノキ	co-ba渋谷
大テーブル席	●	●	● (会議室)	●	●	●	●
壁面テーブル席	-	●	●	-	●	●	●
小テーブル席 (2~4人)	-	-	●	●	●	● (会議室)	●
ソファ席	●	●	●	-	●	-	●
備品	コワーキングスペース あさひかわ37	co-ba花巻	女川フューチャーセンター Camass	co-ba気山沼	SPACE KANTE	ドリノキ	co-ba渋谷
プリンター	●	●	●	●	不明	●	●
ホワイトボード	-	-	●	-	● (会議室)	-	●
プロジェクター・スクリーン	●	-	-	-	●	-	●
ポット	●	-	-	-	-	●	-
電子レンジ	●	-	-	-	-	●	●
冷蔵庫	●	-	-	-	-	-	●

## 6-3 テレワーク拠点施設の整備計画

### 6-3-1 旧歴舟小学校活用モデル

#### (1) 配置計画

校舎2階で使用可能な教室などを短期的に貸し出しすることを想定している。  
面積は260㎡、席数は43席としてプランを作成した。

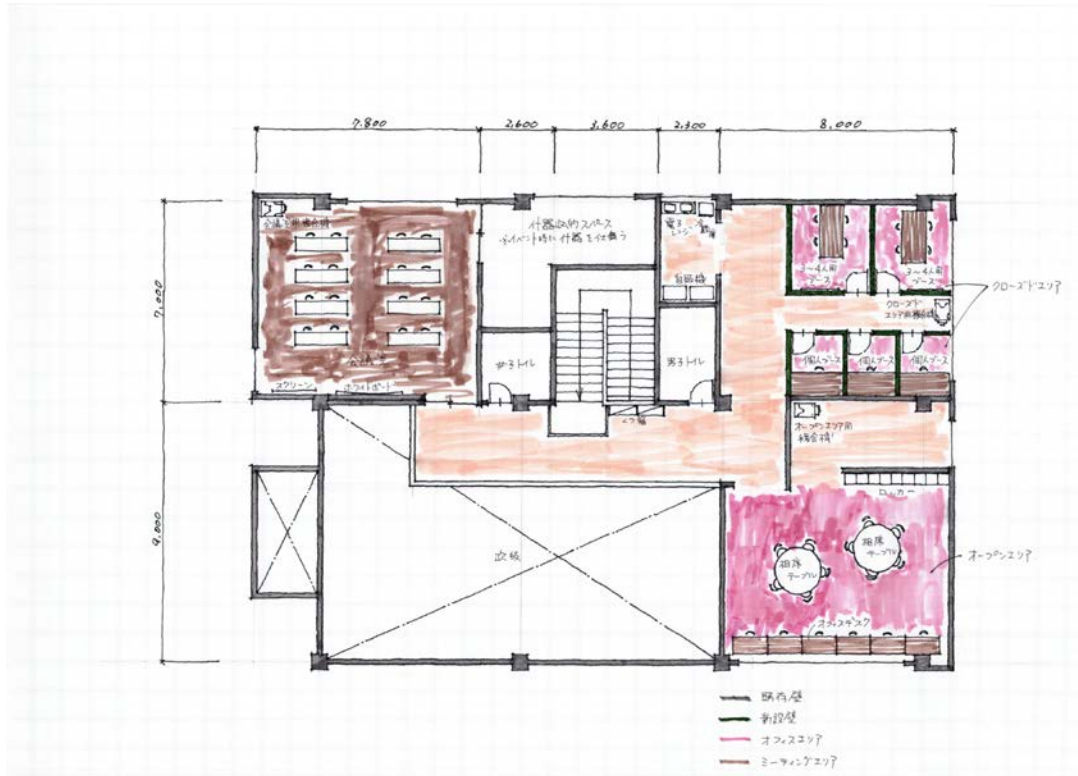


図 6-9 コワーキングスペース平面プラン (旧歴舟小学校活用モデル)

## (2) 整備コスト概算

表 6-11 整備コスト概算（旧歴舟小学校活用モデル）

	項目	数量	単位	単価	概算金額
A 建築 ・ 電気 ・ 機械	LGS H=2500 遮音	52.8	m <sup>2</sup>	8,160	430,440
	カウンターテーブル	8.7	m		1,110,000
	カーペットタイル	35.4	m <sup>2</sup>	2,000	70,800
	天井撤去	50.0	m <sup>2</sup>	2,000	100,000
	天井新設	50.0	m <sup>2</sup>	4,000	200,000
	コンセント	1.0	式		500,000
	照明	1.0	式		500,000
	換気設備	1.0	式		500,000
	暖房設備(FF移設)	1.0	式		200,000
		小計			
	経費込( 50% )				<b>5,416,860</b>
B 建築 ・ 電気	LGS H=2000	42.2	m <sup>2</sup>	4,160	175,552
	カーペットタイル	35.4	m <sup>2</sup>	2,000	70,800
	コンセント	1.0	式		500,000
	小計				746,352
	経費込( 50% )				<b>1,119,528</b>
備品	ホワイトボード可動型	1	個	120,000	120,000
	プロジェクター用スクリーン	1	個	50,000	50,000
	会議室机	11	個	75,000	825,000
	ミーティングチェア	12	個	20,000	240,000
	チェアポーター	1	個	50,000	50,000
	会議室複合機(リース)	1	個	400,000	400,000
	作業台(電子レンジ置場)	1	個	70,000	70,000
	電子レンジ	1	個	10,000	10,000
	ポット	1	個	5,000	5,000
	自動販売機	2	個		-
	打合せ机	4	個	75,000	300,000
	ミーティングチェア	8	個	20,000	160,000
	ホワイトボード可動型	2	個	120,000	240,000
	クローズドエリア複合機(リース)	1	個	400,000	400,000
	個人ブース机 L=2000	3	個	75,000	225,000
	個人ブース椅子	3	個	35,000	105,000
	ロッカー(3列1セット)	2	個	72,000	144,000
	オープンエリア複合機(リース)	1	個	400,000	400,000
	円形テーブル	2	個	215,000	430,000
	閲覧椅子	14	個	65,000	910,000
	小計				<b>5,084,000</b>
A(天井改修あり)+備品					<b>10,500,860</b>
B(天井改修なし)+備品					<b>6,203,528</b>

### 6-3-1 道の駅活用モデル

#### (1) 配置計画

現在のゲームセンターの場所を使用することを想定している。

面積は150㎡、席数は36席としてプランを作成した。

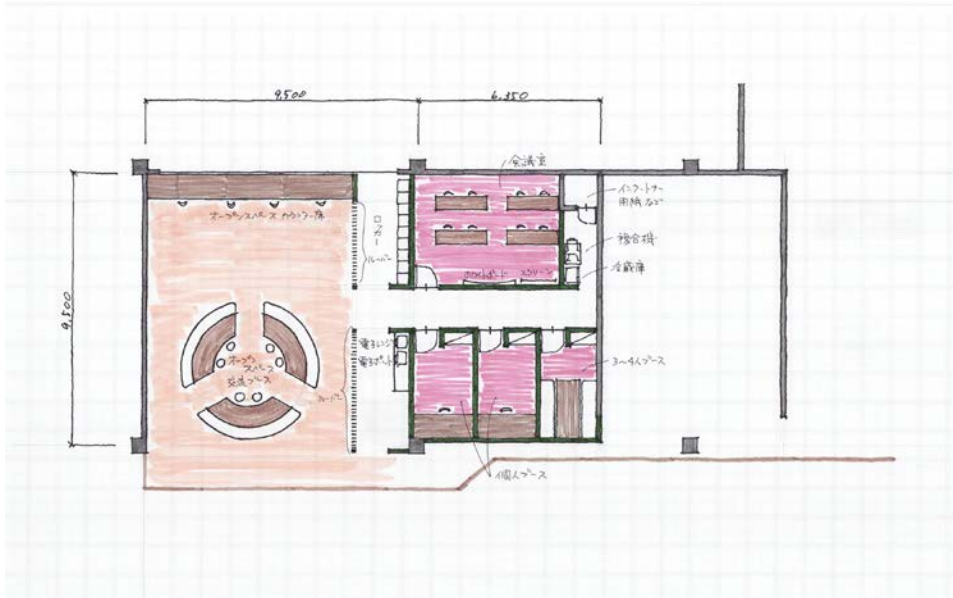


図 6-10 コワーキングスペース平面プラン（道の駅活用モデル）

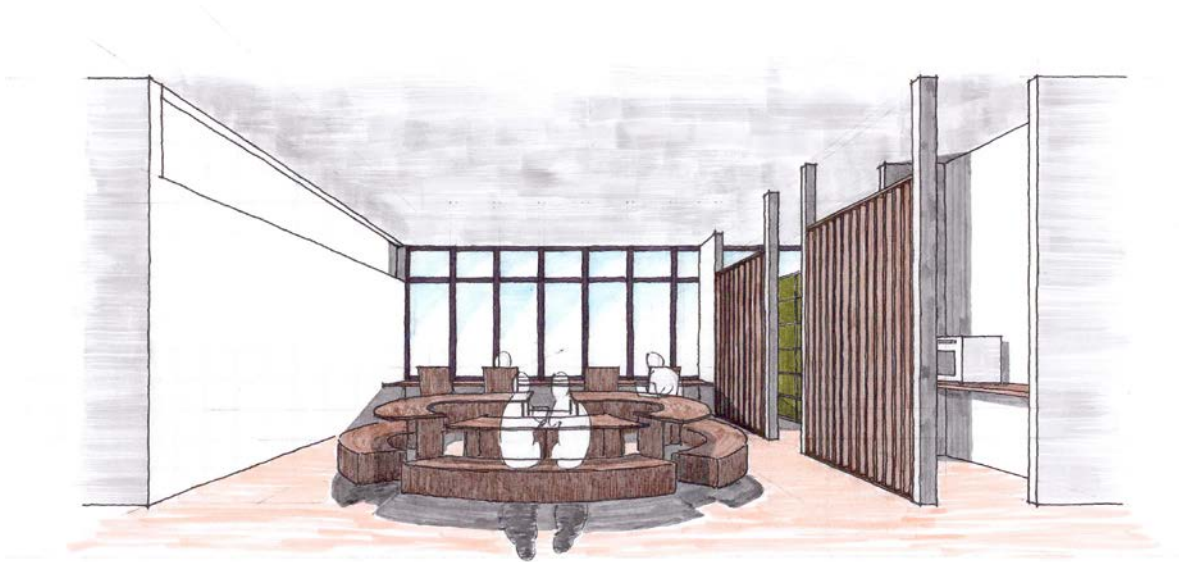


図 6-11 コワーキングスペースイメージ（道の駅活用モデル）

## (2) 整備コスト概算

表 6-12 整備コスト概算 (道の駅活用モデル)

	項目	数量	単位	単価	概算金額
A 建築・電気・機械	LGS H=2500 遮音	67.0	m <sup>2</sup>	8,160	546,720
	カウンターテーブル	7.2	m		1,110,000
	円弧テーブル×3	9	m		1,000,000
	円弧ベンチ×3	12	m		2,000,000
	ルーバー H=2500	17.5	m <sup>2</sup>	15,000	262,500
	天井撤去	62.0	m <sup>2</sup>	2,000	124,000
	天井新設	62.0	m <sup>2</sup>	4,000	248,000
	コンセント	1.0	式		500,000
	照明	1.0	式		500,000
	換気設備	1.0	式		1,500,000
	暖房設備(パッケージエアコン)	1.0	式		1,000,000
小計					8,791,220
経費込( 60% )					<b>14,065,952</b>
B 建築・電気	LGS H=2000	53.6	m <sup>2</sup>	4,160	222,976
	カウンターテーブル	7.2	m		1,110,000
	円弧テーブル×3	9	m		1,000,000
	円弧ベンチ×3	12	m		2,000,000
	ルーバー H=2500	17.5	m <sup>2</sup>	15,000	262,500
	コンセント	1.0	式		500,000
	小計				
経費込( 60% )					<b>8,152,762</b>
備品	閲覧椅子	4	個	65,000	260,000
	スツール	6	個	30,000	180,000
	パーティション L=2100	2	個	105,000	210,000
	ロッカー(3列1セット)	3	個	72,000	216,000
	作業台(電子レンジ置場)	1	個	70,000	70,000
	電子レンジ	1	個	10,000	10,000
	ポット	1	個	5,000	5,000
	自動販売機	2	個		-
	ホワイトボード可動型	1	個	120,000	120,000
	会議室机	4	個	75,000	300,000
	ミーティングチェア	8	個	20,000	160,000
	チェアポーター	1	個	50,000	50,000
	複合機(リース)	1	個	400,000	400,000
	冷蔵庫	1	個	50,000	50,000
	個人ブース机 L=2000	2	個	75,000	150,000
	個人ブース椅子	2	個	35,000	70,000
	ブース棚	3	個	35,000	105,000
	4人ブースベンチ L=2000	2	個	448,000	896,000
	4人ブース机 L=2000	1	個	277,500	277,500
小計					<b>3,529,500</b>
A(天井改修あり)+備品					<b>17,595,452</b>
B(天井改修なし)+備品					<b>11,682,262</b>

### 6-3-1 SORA 併設モデル

#### (1) 配置計画

SORA 横の敷地内に別棟でサテライト施設を新設することを想定している。  
面積は 130 m<sup>2</sup>、席数は 32 席としてプランを作成した。

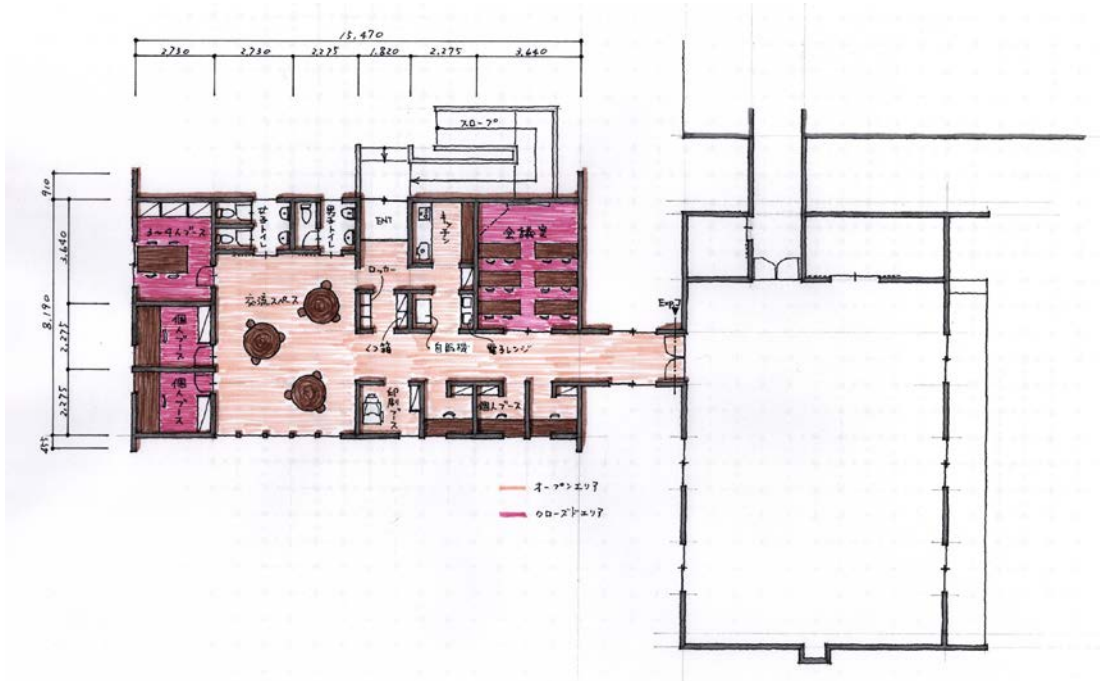


図 6-12 コワーキングスペースイメージ (SORA 併設モデル)

## (2) 整備コスト概算

表 6-13 整備コスト概算 (SORA 併設モデル)

	項目	数量	単位	単価	概算金額
建築	工事費 建築・電気・機械	155	m <sup>2</sup>	215,000	33,325,000
					33,325,000
	経費込( 40% )				<b>46,655,000</b>
備品	ホワイトボード可動型	1	個	120,000	120,000
	プロジェクター用スクリーン	1	個	50,000	50,000
	会議室机	6	個	75,000	450,000
	ミーティングチェア	12	個	20,000	240,000
	チェアポーター	1	個	50,000	50,000
	個人ブース机 L=2000	3	個	75,000	225,000
	個人ブース椅子	3	個	35,000	105,000
	個人ブース棚	3	個	35,000	105,000
	複合機(リース)	1	個	400,000	400,000
	作業台	1	個	70,000	70,000
	作業台(電子レンジ置場)	1	個	70,000	70,000
	電子レンジ	1	個	10,000	10,000
	ポット	1	個	5,000	5,000
	冷蔵庫	1	個	50,000	50,000
	キッチン横の棚	1	個	35,000	35,000
	キッチン作業台	2	個	70,000	140,000
	ロッカー(3列1セット)	2	個	72,000	144,000
	円形テーブル	3	個	215,000	645,000
	閲覧椅子	9	個	65,000	585,000
	2人ブース机 L=2000	2	個	75,000	150,000
	2人ブース椅子	2	個	35,000	70,000
	ブース棚	7	個	35,000	245,000
	ミーティングチェア	4	個	20,000	80,000
	打合せ机	2	個	75,000	150,000
小計				<b>4,194,000</b>	
合計				<b>50,849,000</b>	

---

## 第7章 大樹町テレワーク拠点整備・活用方針

---

### 7-1 テレワーク拠点整備・活用方針

テレワーク環境を整備し、来訪者や地域住民の使いやすい拠点を設けることは、地域内外の交流につながるだけでなく、新たなビジネスが生まれ、人・企業の誘致につながる可能性がある。大樹町におけるテレワーク拠点整備・活用方針は次の通りとする。

#### ①段階的な拠点施設の整備

拠点施設を整備するにあたっては、段階的に行うことが重要である。

まず、オフィス什器の設置など低コストで導入が可能な既存施設を活用した拠点整備から取り組み、認知度を上げ、利用者を増やす工夫をしながら、来訪企業を想定して、リノベーションや新設も含めた施設整備を進めることが考えられる。

#### ②地域内外の人に利用されるテレワーク拠点づくり

来訪企業など地域外の人だけが利用するテレワーク拠点ではなく、地域内の企業や個人が活用可能な場所とすることが重要である。

来訪企業の利用促進に向けて、視察や企業合宿テレワークなどの受入の際に、活用してもらい、施設の改善を進めるとともに、CRMの取組みにより企業への積極的な案内をすること、実験施設や宿泊施設利用者への付帯サービスとすることなどが考えられる。道の駅や周辺施設の利用促進に向けて、宿泊者や道の駅で一定額以上購入した人は個室の利用料を無料とするなどの仕組みが考えられる。

地域の利用者を増やすためには、拠点施設の検討段階からの参加を促すほか、広報による周知とともに、まずは使ってみてもらうために体験イベントなどを実施して、利用者登録してもらったり、利用料金などの面で地域特典を設けたりすることなどが考えられる。町内の高校生も活用できるようにするなど、多様な利用者層を獲得することも重要である。

また、利用している人の姿を見せることが集客につながり、交流を促進すると考えられることから、町職員や地域おこし協力隊など町関係者が積極的に利用することが望ましい。

利用料金の設定については、地域内外の交流の促進や、人・企業の誘致がテレワーク拠点設置の目的であることを考慮して、利用しやすいプランとすることが望ましい。次ページに、地方都市のコワーキングスペースの利用プラン例を参考として示す。

#### ③幅の広い活用シーンの展開

テレワークでの利用に限らず、オープンスペースについては、勉強会やレッスン、交流イベントなど幅広い活用を可能とすることで、交流の促進につなげることが重要である。そのため、様々な用途に利用可能な空間・機能配置とする。また、クローズドスペースについても、起業のためのチャレンジオフィスとしての活用など、起業支援の一つに位置付けることも考えられる。



表 7-1 地方都市のコワーキングスペースの利用プラン例

施設名	住所	人口	部屋	一次利用料金	会員料金プラン	利用可能時間	その他
コワーキングスペースあさひかわ37	旭川市3条通7丁目左6号 第4ヨネザワビル2F	338,785人	12席 半個室ワークスペース×5 完全個室×1(別途¥500/1日)	1Day ¥1,500 2時間 ¥500 10:00~18:00 ¥1,000 18:00~22:00 ¥1,000 *15時から18時の間に入店→2時間ごと¥500(上限¥1,500)	7,000円/月(入会金無料)	10:00~22:00	・スペース貸し料金 人数分×通常利用料金 ・プロジェクター 1回 1,000円 ・前準備・片付け超過割引 開始30分前・終了後30分の合計 1時間 500円 ・パソコン貸出 2時間200円、1日500円 月会員は無料 ・月会員はロッカー使用可能 ・食事の持ち込み自由 ・ボードゲームを楽しめるスペースも併設
co-ba花巻	岩手県花巻市大通り1丁目4-14 小友ビル4F	96,535人	明示なし 平面図は24席	1,000円/日	・フリーアドレス会員(花巻のみ) 10,000円/月 ・ネットワーク会員(全国のco-ba) 15,000円/月 初期費用 10,000円 ・登記・住所利用 5,000円/月 ・ロッカー 3,000円/月	1DAY利用は 9:00-18:00 会員は24時間可	・ミーティングスペースあり ・イベント貸切利用 1,500円/h ・合宿プラン 5,000円/日 ただし貸切と合宿は条件、日時によって料金変動
co-ba気仙沼	気仙沼市南町2-2-25	64,352人	明示なし 平面図は32席	co-ba花巻と同じ	co-ba花巻と同じ	1DAY利用は 10:00-17:00 会員は24時間可	・イベント利用 5,000円/日(会員価格)
女川フューチャーセンターCamass	宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原75-7	6,577人	明示なし 平面図は32席	ワンデイ会員 一般500円/日 大学生250円/日 高校生以下100円/日 その他 入会金10,000円 ロッカー利用 2,000円/月 郵便物受取2,000円/月	・マンスリー会員 8,500円/月 ※町内利用者6,500円/月 ・カンパニー会員 30,000円/月 ※町内利用者24,000円/月 ・タイムシェアオフィス年間会員 160,000円/年 実賃物件(3年契約)である個室オフィスを、1日から4週間という単位で占有利用が可能な“タイムシェア”プラン ※シェアオフィスは現在満室	9:00 ~ 19:00(定休日:日曜・祝祭日)	・会議室(8席×2室) 会員は無料 ワンデイメンバー:500円/1時間 ・多目的スペース併設(4部屋あり、無料) ・多目的スペース1棟貸切1000円/1時間(町内利用者は500円/1時間) ・コワーキングスペース貸切(要相談) 基本的に5000円/h
富士見 森のオフィス	長野県諏訪郡富士見町富士見3785-3	14,716人	最大20名	ONE DAY会員 700円 ※会員カードに1000円をチャージし、電子マネーで支払い ・タイムシェアオフィス1日会員 10,000円(事前登録など必要)	・1ヶ月会員 4,500円/月 ・3ヶ月会員 12,000円/月 ・6ヶ月会員 21,000円/月 ・年間会員 35,000円/月 ・タイムシェアオフィス年間会員 160,000円/年 実賃物件(3年契約)である個室オフィスを、1日から4週間という単位で占有利用が可能な“タイムシェア”プラン ※シェアオフィスは現在満室	記載なし	・1ヶ月会員以上:友人ゲスト毎月2日分無料、プリンター用紙毎月20枚無料 ・3ヶ月会員以上:セミプライベートルーム利用可能 ・6ヶ月会員以上:食堂、キッチン毎月2時間レンタル無料 ・年間会員以上:会議室毎月8時間レンタル無料 スペースレンタル ・会議室 ビジネス会議:1時間 500円 セミナー/教室利用:2時間 2,500円(2時間以降:1時間 1,250円) ・キッチン2時間 2,000円(2時間以降:1時間 1,000円)※平日12時~13時は除く ・キッチン+食堂 2時間 3,500円(2時間以降:1時間 1,250円) ・コワーキングスペース 2時間 10,000円(2時間以降:1時間 5,000円)※平日は17時以降のみ ・営利目的ではない10名以内の集まりは平日9:00から11:30まで食堂スペース無料。 ・キッチンタイプのコワーキングスペース「コワーキングキッチン」もあり。諏訪保健所にて「食品衛生法による営業許可申請書」を提出して許可が取れば利用可能。年間42,000円+1日700円
CREEKS COWORKING NAGANO	長野県長野市西後町町並 1583 リプロ表参道 1-2F	378,998人		1,080円/日 17:00以降は 500円	・boarding50(月50時間まで) 6,480円~/月 ・boarding 12,960円~/月 ・cabin(専有のブースを利用) 32,400円~/月 その他 ・ロッカー利用 2,160円/月 ・住所利用(郵便物受取代行) 3,240円/月 ただしcabin会員は下記。 ・会議室10時間利用無料 ・ロッカー付き ・法人登記可 ・住所利用可(郵便物受取代行)	平日(月~金) 9:00~20:00 土曜9:00~18:00 日曜祝日定休	・1Fはコミュニティカフェtsunagno イベント/セミナー利用(貸切)可能 ・2F店会場レンタル利用は日曜祝日も可 ・会議室は約8~10人収容 ・会議室利用(非営利) 会員540円/h 非会員は5,400円/3h、営業時間外は+540/h ・会議室利用(営利) 3hで5,400円、以降1,620円/h加算 ・2Fリーススペース貸切 9:00~13:00 6,480円 13:00~18:00 8,640円 18:00~22:00 8,640円※

## 7-2 テレワーク拠点整備・活用イメージ

大樹町におけるテレワーク拠点整備・活用方針を踏まえて、各プランの今後の展開イメージを示す。

### 7-2-1 既存施設活用プラン

#### (1) 道の駅展望スペース

最も気軽な活用スペースとして、道の駅の2階展望ロビーが考えられる。

道の駅であれば、インターネット環境として無料Wi-Fiサービスもあり、飲食機能、休憩機能（トイレ等）もそろっている。出張者、旅行者、地元住民がインターネットを気軽に使えるテレワーク拠点として位置づけることができれば、現状のまま活用可能である。

#### (2) 旧歴舟小学校

旧歴舟小学校は、既にコミュニティーセンターとして改修されており、インターネット環境が整備されればオフィス什器を導入することで、既存施設をそのままテレワーク拠点として活用することが可能である。

2階部分のみを活用して、来訪企業等が個別に使うことのできる空間として、鍵の貸し出しにより、期間中は自由に使うことができるようにすることが考えられる。

留意点として、2階部分で完結させる場合、水回りがトイレのみとなるため、給湯室の機能がないことや、旧歴舟小学校のエリアは、市街地から離れており、来訪企業と地域の人や企業との接点（コミュニティーセンター等の活用や、ISTの第2オフィスとしての活用など）を積極的につくる必要があることなどが挙げられる。

### 7-2-2 リノベーションプラン

リノベーションプランで想定している道の駅の1階は、市街地に立地しており、地域と企業の接点を持ちやすく、視覚的にも最も見えやすい場所と言える。広さも十分あることから、コワーキングスペースや専用ブース、会議室など多様な機能を導入することが可能である。

また、立地面や、多くの人目に触れる機会が多く対外的なPR効果が期待できる面から、町関係者によるサテライト利用の場所としても最適であると考えられる。

### 7-2-3 新設プラン

既存施設活用プランや、リノベーションプランに取り組む中で、更なる利用が見込まれる場合、宇宙関連企業をメインターゲットとしたテレワーク拠点をSORAに併設したり、幅広い企業の利用を目的として、市街地に設置することなどが考えられる。

新設する場所として想定しているのは、SORAに併設するプランである。基本的には、実験施設を利用する企業が、滞在時に活用することが想定される。仕事場と実験場の両方があることで、長期間滞在しやすくなり、他の利用者と実験期間が重なっても、柔軟なスケジュール調整が可能になると考えられる。また、交流の面からは、複数の企業が同時に滞在することもメリットと言える。

## 第8章 大樹町テレワーク活用プランの展開に向けて

平成28年度から平成30年度までの3年間にわたって、大樹町テレワーク活用プランを検討した。

テレワーク施策の実施にあたって、平成28年度調査における施策メニューの内容（計画：Plan）を受けて、平成29年度調査においてスモールスケールでのモニター実証等（試行・詳細検討：Do）を行った。その中で、大樹町テレワーク活用プランを実現するにあたって、ハード面及びソフト面から事業化に必要な実施事項を、「人を呼び込む」「人が来る」「人が集まる・交流する」「人をつなぐ」の4つに整理し、これを受けて、今年度は具体化に向けて、特にポイント1、3、4について検討を行ったところである。

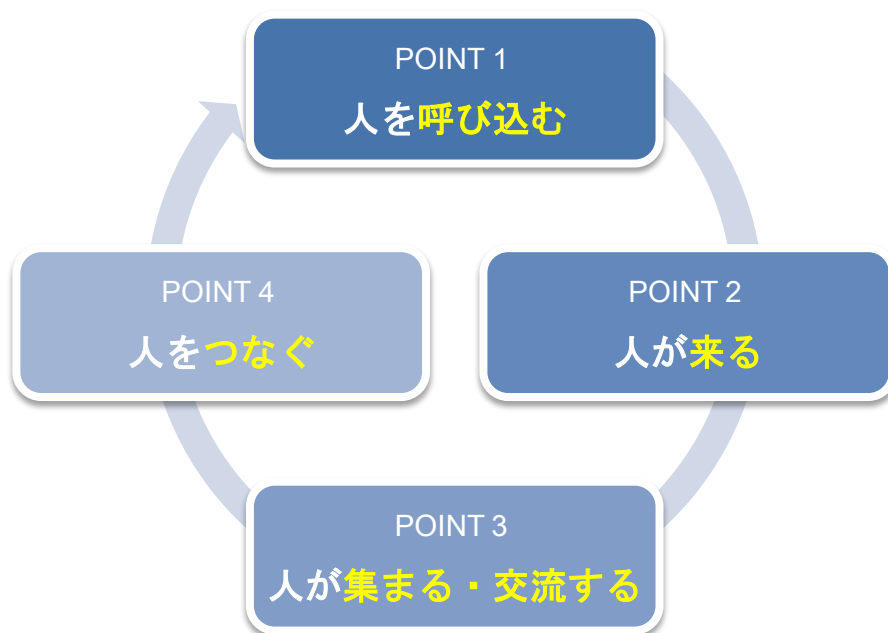


図 8-1 テレワーク等の事業化に必要な実施事項の4つのポイント

今後の大樹町テレワーク活用プランの展開に向けて取り組むことが望ましい課題を以下に挙げる。

#### ＜ポイント1＞人を呼び込む

- ・宇宙関連企業向けの視察ツアーについて、継続の要望も複数あり、大樹町をPRし、理解が深まるとともに、新たな企業との連携可能性が生まれる重要な機会となっていることから、今後大樹町において継続して実施していくこと
- ・フリーランサー・一般企業向けのテレワークについて、今年度検証したプランの継続実施を働きかけるとともに、過去参加企業を中心に声掛けし、企業合宿プランなどを継続して実施すること
- ・テレワークを通じた大樹町の認知度向上がテレワーカーの行動変容を促していく可能性があると考えられることから、来訪企業・人の拡大に向けた首都圏企業へのPRを進めるため、帯広市東京事業所と連携するなど、「東京都内での営業拠点」を設け、イベントやロビー活動などを展開し、テレワークの普及を促進すること

#### ＜ポイント2＞人が来る

- ・テレワーク利用者の交通アクセスにかかるバリアの軽減に向けて、公共交通施策の一環として、町内だけでなく町外からの来訪者の利活用を視野に入れた検討を進めること

#### ＜ポイント3＞人が集まる・交流する

- ・町内外の人が集まる拠点の整備・活用として、既存施設を活用した拠点づくりから着手し、利用促進を図りながら、段階的な拠点整備を行うこと

#### ＜ポイント4＞人をつなぐ

- ・CRMの導入による来訪者と大樹町の関係構築に向けて、行政を含む企業間でネットワークを構築して顧客情報を共有して活用すること（歓迎セレモニー、交流会、履歴管理、帰還後の継続コンタクトなど）

都市部から地方へ、仕事・人を移動させ交流を活発化させることを目指す「ふるさとテレワーク」は、移住・交流の促進施策として注目されている。

大樹町においても、急速な少子高齢化や人口減少への対応が課題となる中、移住・交流の促進に向けて、「宇宙のまちづくり」という特色や、豊かな自然環境など地域資源を活用した「大樹町テレワーク活用プラン」を検討してきた。

「大樹町テレワーク活用プラン」の推進に向けては、先に挙げた4つのポイントに基づいてできることから順に取り組んでいくことが考えられるが、これらの取組みのベースには、「地元の人々の協力」が必要不可欠である。

そのためには、地元の人々の利便性を高めること、地域外からの来訪者との接点を作り地元との関係性を構築することを前提に、それぞれの施策を検討していくことが重要となる。

公共交通施策を検討する、拠点施設づくりを進める、CRMの導入を検討するなど、具体的に着手する際には、地元との意見交換の場を積極的に設けて、一緒に作り上げることで、「大樹町テレワーク活用プラン」が大きく前進し、継続的な取組みになると考える。